

全国木簡出土遺跡・報告書綜覧

II



木簡

第一次大極殿院整地土 木簡11285・11286

第一次大極殿院整地土

三三三
 年慶雲三年丁未年慶雲肆年孝服
 癸卯年太寶三年正月宮内省四年

上端・左右両辺削り
 三三、丁未年は慶雲
 が父母の喪に遭った
 なお、二八表にも、

三三六・伊勢国安
 ・和銅三年
 四周削り。「伊勢

Nara National Research Institute for
 Cultural Properties
 Independent Administrative Institution
 National Institute for Cultural Heritage

THE WOODEN TABLETS FROM THE NARA PALACE SITE VII

English Summary

整地土出土の木簡 (図版58)

第一次大極殿院南面築地回廊SC7820下層の遷都当初の整地土から腐食が著しい。木簡の年紀は、大宝3年(703)から和銅3年(712)の月の荷札が含まれる点で、きわめて注目される。出土の断片と考えられるものが大半で、削屑は出土していない。削屑を呈するのが特徴である。いずれも、平城宮造営の二次的削りか。ヒノキ科・板目。参河国の荷札の断片。下端折れ。ヒノキ科・板目。遠江国の荷札の断片。「長田上郡」に当たる。「長田上郡」の表記は、国・郡・里など行政地名の表す命じた和銅6年(713)5月制以前のものである。長上郡は、和銅2年(709)下二郡に分割して成立したので(『続日本紀』同月丁未条)、この木簡の年代は、和銅2年までに限定できる。『和名抄』によると、遠江国長下郡には、大(太)田郷・長上郡には該当する郷は認められず不詳。削り、下端折れ。ヒノキ科・板目。駿河国の荷札の断片。「五百原」

(274) × 3

表 紙

平城宮木簡第11285号

奈良文化財研究所編『平城宮木簡七』(奈良文化財研究所史料第85冊) 2010年

奈良文化財研究所編『平城宮発掘調査報告別一第一次大極殿院地区の調査2一』(奈良文化財研究所学報第84冊) 2011年

全国木简出土遺跡・報告書綜覧

Ⅱ

2014年2月

目 次

目 次	1	近 畿	85
凡 例	2	滋 賀 県	85
北 海 道 ・ 東 北	5	京 都 府	94
北 海 道	5	大 阪 府	101
青 森 県	5	兵 庫 県	108
岩 手 県	7	奈 良 県	115
宮 城 県	10	和 歌 山 県	142
秋 田 県	16	中 国	144
山 形 県	22	鳥 取 県	144
福 島 県	25	島 根 県	145
関 東	27	岡 山 県	150
茨 城 県	27	広 島 県	151
栃 木 県	27	山 口 県	154
群 馬 県	29	四 国	157
埼 玉 県	29	徳 島 県	157
千 葉 県	31	香 川 県	160
東 京 都	32	愛 媛 県	162
神 奈 川 県	40	高 知 県	162
北 陸	45	九 州 ・ 沖 縄	164
新 潟 県	45	福 岡 県	164
富 山 県	55	佐 賀 県	171
石 川 県	59	長 崎 県	172
福 井 県	67	熊 本 県	173
中 部	70	大 分 県	173
山 梨 県	70	宮 崎 県	174
長 野 県	70	鹿 児 島 県	174
岐 阜 県	73	沖 縄 県	175
東 海	75	索 引	177
静 岡 県	75	木 簡 出 土 遺 跡 所 在 地 索 引	177
愛 知 県	81	遺 跡 名 索 引	187
三 重 県	83		

凡 例

一、『全国木簡出土遺跡・報告書綜覧Ⅱ』（以下、本書と称する）は、先に刊行した『全国木簡出土遺跡・報告書綜覧』（2004年2月。以下『綜覧Ⅰ』と称する）の続編にあたり、全国の木簡出土遺跡とその報告書等の刊行情報を集成するものである。

一、本書は、2012年末までに公表された木簡出土遺跡を収録対象としたが、それ以降に公表された遺跡についても管見の限り掲載した。

一、本書には、遺跡名、所在地、遺跡の時代・種類、調査期間、出土点数、調査機関、報告書等名、論文等名を、次の書式に基づいて掲載した。

遺跡名〔ふりがな〕	所在地（市・郡町村名）			
	遺跡（出土木簡）の時代・種類	調査期間	出土点数	調査機関
○編集発行機関名	『報告書等名』			出版年（西暦）
○著者名	「論文名」（『木簡研究』掲載号数）			出版年（西暦）

一、遺跡名は原則として調査機関の付した名称により、遺跡の排列は都道府県・市区町村コード順、調査期間の古い順とした。同一の遺跡が複数の市町村にまたがって所在する場合は、調査地にかかわらず、その遺跡において最初に木簡が出土した市区町村に排列した。また、同一遺跡から複数回の調査で木簡が出土している場合は、発掘次数別による掲載を原則としたが、一項目に統一した場合もある。

一、遺跡名、調査期間、出土点数などのデータは、最新の報告書等に拠るよう努めた。

一、遺跡の所在地は、2013年12月現在のもので排列した。

一、遺跡の時代・種類は、報告書等および木簡学会編『木簡研究』に基づくが、適宜統一をはかり、あるいはその後の知見によりあらためた場合がある。

一、調査期間のうち、戦後のものは次の如く略記した。（例）1999年12月～2000年1月→99.12 - 00.1

一、調査機関名のうち、埋蔵文化財は埋文、教育委員会は教委など、適宜略称を用いた場合がある。

一、本書が収録の対象とした報告書等は、各調査機関の発行する遺跡の調査報告書・概報・略報の類を基本とするが、一部年報・紀要等の刊行物も含む場合がある。加えて、参照の便に鑑み、次の文献は報告書等に準じて掲載対象とした。

奈良国立文化財研究所『木簡研究集会記録 第1回～第3回』（1976～79年）

木簡学会編『木簡研究』創刊号～35号（1979年～2013年）

（『木簡研究』未掲載の遺跡には※を、「本誌未掲載出土事例略報」欄に掲載した遺跡には（※）を、ふりがなの後に付した）

木簡学会編『日本古代木簡選』（岩波書店、1990年）

沖森卓也・佐藤信編『上代木簡資料集成』（おうふう（桜楓社）、1994年）

木簡学会編『日本古代木簡集成』（東京大学出版会、2003年）

滋賀県立安土城考古博物館『古代地方木簡の世紀—文字資料からみた古代の近江』（2008年）

奈良文化財研究所『木簡黎明—飛鳥に集ういにしへの文字たち』（飛鳥資料館図録53、2010年）

（ただし、釈文を変更した木簡の出土した遺跡のみに掲げた）

自治体史の類は原則として収録の対象としないが、報告書が未刊の場合や釈文の訂正がある場合管見の限りで収録したものもある。また、正報告が刊行されている場合には、それ以前に刊行された年報・紀要などの掲載を省略したことがある。

一、『総覧Ⅰ』に掲載した遺跡についても、その後に報告書等が刊行された場合は、重複を厭わずすべての報告書等を再掲した。再掲した項目は、ふりがなの後に【Ⅰ頁数】を付した。

一、本書は、奈良文化財研究所都城発掘調査部史料研究室が、木簡学会の全面的協力を得て作成した。木簡出土情報及び報告書刊行情報をお寄せいただいた多くの方々に、謝意を表したい。編集に際しては、有田洋子・大杉綾花・岡島陽子・黒羽亮太・小池綾子・杉本敬子・本庄総子・南島真理子・吉岡直人各氏の助力を得た。本書の編集は、山本崇（奈良文化財研究所都城発掘調査部〈飛鳥・藤原地区〉）が担当した。

一、本書は、奈良文化財研究所埋蔵文化財センター『埋蔵文化財ニュース』第154号及び、木簡学会発行『全国木簡出土遺跡・報告書総覧Ⅱ』としてそれぞれ刊行するものである。

一、本書は、以下の各科学研究費による研究成果を含むものである。科学研究費補助金基盤研究（S）「推論機能を有する木簡など出土文字資料の文字自動認識システムの開発」（研究代表者・渡辺晃宏、2003年度～2007年度）、科学研究費補助金基盤研究（S）「木簡など出土文字資料積読支援システムの高次化と総合的研究拠点データベースの構築」（研究代表者・渡辺晃宏、2008年度～2012年度）、科学研究費補助金若手研究（B）「令前木簡と古代文書の機能論的検討による日本における古代文書行政成立史の研究」（研究代表者・山本崇、2010年度～2012年度）、科学研究費補助金基盤研究（S）「木簡など出土文字資料の資源化のための機能的情報集約と知の結集」（研究代表者・渡辺晃宏、2013年度～2017年度〈予定〉）、科学研究費補助金基盤研究（C）「平安時代出土文字資料の動態的歴史分析—〈荷札の終焉〉にみえる木簡の機能」（研究代表者・山本崇、2013年度～2015年度〈予定〉）。

一、近年における木簡出土遺跡・出土点数の増加状況に鑑みるならば、なお遺漏も多いと思われる。諸賢のご批正、さらなる情報提供を得て、より完全なものを目指した増補を続ける所存である。お気づきの点は、下記までご一報いただければ幸いである。

連絡先

〒630-8577 奈良市佐紀町2 4 7 番 1

奈良文化財研究所都城発掘調査部史料研究室

Tel 0742-30-6837 Fax 0742-30-6830

E-mail shiryu@nabunken.go.jp

北海道・東北

北海道

上之国勝山館跡〔かみのくにかつやまたて〕【15】 檜山郡上ノ国町

近代集落 99.5 - 99.11 1点 上ノ国町教育委員会

- 上ノ国町教委 : 『史跡 上之国勝山館跡X X I—平成11年度発掘調査環境整備事業概報』 : 2000年
- 塚田直哉 : 「北海道・勝山館跡」(『木簡研究』33) : 2011年

天寧1遺跡(試掘)〔てんねる〕 釧路郡釧路町

近代集落 04.6 - 04.7 1点 (財)北海道埋蔵文化財センター

- 北海道埋文センター : 『釧路町天寧1遺跡—一般国道44号釧路町釧路外環状道路工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』(北海道埋蔵文化財センター調査報告書254) : 2008年
- 福井淳一 : 「北海道・天寧1遺跡」(『木簡研究』35) : 2013年

青森県

浪岡城跡(84年度調査)〔なみおかじょう〕【16訂】 青森市(旧、南津軽郡浪岡町)

中世城館 84.4 - 84.12 1点 浪岡町教育委員会

- 浪岡町教委 : 『浪岡城跡—主要地方道青森浪岡線特殊改良一種工事に伴う発掘調査』(浪岡町埋蔵文化財緊急発掘調査報告書3) : 1986年
- 木村浩一 : 「青森・浪岡城跡」(『木簡研究』8) : 1986年

高間(一)遺跡(04年度調査)〔たかまかつこいち〕 青森市

中世集落 04.6 - 04.11 8点 青森市教育委員会

- 青森市教委 : 『石江遺跡群発掘調査概報 新田(1)遺跡・高間(1)遺跡』(青森市埋蔵文化財調査報告書81) : 2005年
- 木村淳一・相馬敏也 : 「青森・高間(一)遺跡」(『木簡研究』27) : 2005年
- 青森市教委 : 『石江遺跡群発掘調査報告書VI—石江土地地区画整理事業に伴う発掘調査(第2分冊 高間(1)遺跡本文・図版編2)』(青森市埋蔵文化財調査報告書113-2) : 2013年
- 青森市教委 : 『石江遺跡群発掘調査報告書VI—石江土地地区画整理事業に伴う発掘調査(第4分冊 高間(1)遺跡写真図版・観察表編, 石江遺跡群分析編4)』(青森市埋蔵文化財調査報告書113-4) : 2013年

高間(一)遺跡(05年度調査)〔たかまかつこいち〕 青森市

中世集落 05.4 - 05.11 21点 青森市教育委員会

- 木村淳一 : 「青森・高間(一)遺跡」(『木簡研究』28) : 2006年
- 青森市教委 : 『石江遺跡群発掘調査報告書VI—石江土地地区画整理事業に伴う発掘調査(第2分冊 高間(1)遺跡本文・図版編2)』(青森市埋蔵文化財調査報告書113-2) : 2013年
- 青森市教委 : 『石江遺跡群発掘調査報告書VI—石江土地地区画整理事業に伴う発掘調査(第4分冊 高間(1)遺跡写真図版・観察表編, 石江遺跡群分析編4)』(青森市埋蔵文化財調査報告書113-4) : 2013年

新城平岡(四)遺跡〔しんじょうひらおかつこよん〕【16】 青森市

近世自然流路 02.7 - 02.11 54点 青森市教育委員会

- 青森市教委 : 『市内遺跡発掘調査報告書11 平成14年度』(青森市埋蔵文化財調査報告書69) : 2003年
- 木村淳一 : 「青森・新城平岡(四)遺跡」(『木簡研究』25) : 2003年
- 青森市教委 : 『石江遺跡群発掘調査報告書V—石江土地地区画整理事業に伴う発掘調査(第1分冊 新城平岡(4)遺跡本文・図版編)』(青森市埋蔵文化財調査報告書112-1) : 2012年
- 青森市教委 : 『石江遺跡群発掘調査報告書V—石江土地地区画整理事業に伴う発掘調査(第2分冊)』 : 2012年

	分冊 新城平岡(4)写真図版・観察表編』(青森市埋蔵文化財調査報告書112 - 2)	
○青森市教委	『石江遺跡群発掘調査報告書V—石江土地地区画整理事業に伴う発掘調査(第3分冊 新城平岡(2)(7)遺跡編・石江遺跡群分析編)』(青森市埋蔵文化財調査報告書112 - 3)	2012年
新城平岡(四)遺跡 [しんじょうひらおかかっこよん] 青森市		
近世自然流路 06.4 - 06.11 141点 青森市教育委員会		
○木村淳一	「青森・新城平岡(四)遺跡」(『木簡研究』29)	2007年
○青森市教委	『石江遺跡群発掘調査報告書V—石江土地地区画整理事業に伴う発掘調査(第3分冊 新城平岡(4)遺跡本文・図版編)』(青森市埋蔵文化財調査報告書112 - 1)	2012年
○青森市教委	『石江遺跡群発掘調査報告書V—石江土地地区画整理事業に伴う発掘調査(第2分冊 新城平岡(4)写真図版・観察表編)』(青森市埋蔵文化財調査報告書112 - 2)	2012年
○青森市教委	『石江遺跡群発掘調査報告書V—石江土地地区画整理事業に伴う発掘調査(第3分冊 新城平岡(2)(7)遺跡編・石江遺跡群分析編3)』(青森市埋蔵文化財調査報告書112 - 3)	2012年
新田(一)遺跡(03年度調査) [にったかっこいち] 青森市		
古代以降集落 03.6 - 03.11 14点 青森市教育委員会		
○木村淳一	「青森・新田(一)遺跡」(『木簡研究』26)	2004年
○青森市教委	『石江遺跡群発掘調査概報 新田(1)遺跡・高間(1)遺跡』(青森市埋蔵文化財調査報告書81)	2005年
○青森市教委	『石江遺跡群発掘調査報告書—東北新幹線建設事業に伴う発掘調査』(青森市埋蔵文化財調査報告書94)	2007年
新田(一)遺跡(06年度調査) [にったかっこいち] 青森市		
古代以降集落 06.4 - 06.11 1点 青森市教育委員会		
○木村淳一	「青森・新田(一)遺跡」(『木簡研究』29)	2007年
新田(一)遺跡(07年度調査) [にったかっこいち] ※ 青森市		
古代以降集落 07.4 - 07.10 1点 青森県教育委員会		
○青森県教委	『新田(1)遺跡—東北新幹線建設事業に伴う遺跡発掘調査報告』(青森県埋蔵文化財調査報告書472)	2009年
津軽氏城跡(弘前城北の郭) [つがるししろ] 【I6】 弘前市		
近世城郭 01.6 - 01.12 8点 弘前市教育委員会		
○弘前市教委	『史跡 津軽氏城跡(弘前城跡) 弘前城北の郭発掘調査概報Ⅲ』	2002年
○弘前市教委	『史跡 津軽氏城跡(弘前城跡) 弘前城北の郭発掘調査報告書—北の郭整備事業に伴う発掘調査』	2003年
○岩井浩介	「青森・津軽氏城跡・弘前城跡」(『木簡研究』26)	2004年
津軽氏城跡(長勝寺構)(02年度調査) [つがるししろ] 【I6】 弘前市		
近世城郭 02.9 - 02.10 2点 弘前市教育委員会		
○弘前市教委	『史跡 津軽氏城跡(弘前城跡) 長勝寺構 長勝寺発掘調査報告書—住宅及び位牌堂改築に伴う遺跡発掘調査』	2003年
○岩井浩介	「青森・津軽氏城跡・弘前城跡」(『木簡研究』26)	2004年
十三湊遺跡(121次) [とさみなと] 五所川原市(旧、北津軽郡市浦村)		
中世集落 00.9 - 00.11 1点 青森県埋蔵文化財調査センター		
○青森県教委	『十三湊遺跡 第10・11・15・16・17・74・75・91・92・93・94・121・122・136・137・138・139・140・141・142・143・144・146・147・148・149・150・152・153・154次発掘調査報告書(第I分冊)(第III分冊)(第IV分冊)(第V分冊)(第VII分冊 写真図版編)(付図)』(青森県埋蔵文化財調査報告書398)	2005年
○鈴木和子	「青森・十三湊遺跡」(『木簡研究』28)	2006年
十三盛遺跡(2次) [じゅうさんもり] 五所川原市		
古代集落 10.5 - 10.10 1点 五所川原市教育委員会		
○藤原弘明	「青森・十三盛遺跡」(『木簡研究』33)	2011年

- 大光寺新城跡遺跡（4次）**〔だいこうじしんじょう〕【I6訂】 平川市（旧、南津軽郡平賀町）
 中世居館 95.7 - 95.12 70点 平賀町教育委員会
- 渡部学 : 「青森・大光寺新城跡遺跡」(『木簡研究』20) : 1998年
 - 平賀町教委 : 『大光寺新城跡遺跡 第4・5次発掘調査』(平賀町埋蔵文化財報告書24) : 1999年

岩手県

- 向中野館遺跡（6次）**〔むかいなかのだて〕 盛岡市
 古代中世集落 04.6 - 04.10 5点 (財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
- 北村忠昭 : 「岩手・向中野館遺跡」(『木簡研究』28) : 2006年
 - 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター : 『向中野館遺跡発掘調査報告書 第5・6次一盛岡南新都市計画整備事業関連遺跡発掘調査』(岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書503) : 2007年

- 西川目遺跡**〔にしかわめ〕 北上市
 近世集落・墓地 03.4 - 03.7 1点 (財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
- 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター : 『西川目・堰向Ⅱ遺跡発掘調査報告書一県営ほ場整備事業二子地区関連遺跡発掘調査』(岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書464) : 2005年
 - 西澤正晴 : 「岩手・西川目遺跡」(『木簡研究』29) : 2007年

- 落合Ⅱ遺跡**〔おちあい〕【I7追】 奥州市（旧、江刺市）
 古代河川 74.4 - 74.8 3点 岩手県教育委員会
- 平川南 : 「東北地方出土の木簡について」(『木簡研究』1) : 1979年
 - 岩手県教委 : 『東北新幹線関係埋蔵文化財調査報告書Ⅵ』(岩手県文化財調査報告書50) : 1980年

- 道上遺跡**〔どうのうえ〕 奥州市
 古代集落 07.4 - 07.8 1点 (財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
- 岩手県南広域振興局農林部農村整備室・岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター : 『道上遺跡第3次・合野遺跡・小林繁長遺跡発掘調査報告書』(岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書544) : 2009年
 - 丸山浩治・石崎高臣 : 「岩手・道上遺跡」(『木簡研究』32) : 2010年

- 国分遺跡**〔こくぶん〕※ 奥州市
 近世集落 10.6 - 10.8 1点 (財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
- 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター : 『国分遺跡・川端遺跡・堤遺跡発掘調査報告書一経営体育成基盤整備事業都鳥2期地区関連遺跡発掘調査』(岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書600) : 2012年

- 中畑城跡**〔なかはたじょう〕※ 奥州市
 中世城館 10.9 - 10.12 1点 (財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
- 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター : 『八反町遺跡発掘調査報告書一経営体育成基盤整備事業古城2期地区関連遺跡発掘調査』(岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書610) : 2013年

- 中尊寺金色院境内・金剛院境内（50Ⅱ次）**〔ちゅうそんじこんじきいんけいだい・こんごういんけいだい〕※
 西磐井郡平泉町 古代寺院 97.5 - 98.3 1点 平泉町教育委員会
- 平泉町教委 : 『特別史跡中尊寺境内 内容確認調査報告書』(岩手県平泉町文化財調査報告書98) : 2006年
 - 平泉町教委 : 『平泉遺跡群考古資料精選Ⅱ』(岩手県平泉町文化財調査報告書112) : 2009年

- 柳之御所跡（18次）**〔やなぎのごしょ〕※ 西磐井郡平泉町
 古代居館 86. (月不詳) 2点 平泉町教育委員会
- 平泉町教委 : 『平泉遺跡群発掘調査報告書 伽羅の御所跡第2次 猫間が潤跡第1次・柳の御所跡第18次』(岩手県平泉町文化財調査報告書11) : 1987年
 - 平泉町教委 : 『平泉遺跡群考古資料精選Ⅱ』(岩手県平泉町文化財調査報告書112) : 2009年

柳之御所跡 (21次) [やなぎのごしよ] 【18】 西磐井郡平泉町		
古代居館 88.4 - 88.11 9点 (財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター		
○岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	『柳之御所跡 姿を現した居館跡』	1991年
○岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	『柳之御所跡 (本文・図版編) (写真図版編) (考察編) —— 閑遊水池事業・平泉バイパス建設関連第21・23・28・31・36・41次発掘調査報告』 (岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書228)	1995年
○三浦謙一	「岩手・柳之御所跡(1)」(『木簡研究』27)	2005年
柳之御所跡 (28次) [やなぎのごしよ] 【18】 西磐井郡平泉町		
古代居館 90.4 - 90.11 20点 (財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター		
○岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報 (平成2年度分)』	1991年
○岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	『柳之御所跡 姿を現した居館跡』	1991年
○三浦謙一	「岩手・柳之御所跡」(『木簡研究』13)	1991年
○岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	『柳之御所跡 (本文・図版編) (写真図版編) (考察編) —— 閑遊水池事業・平泉バイパス建設関連第21・23・28・31・36・41次発掘調査報告』 (岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書228)	1995年
○木簡学会編	『日本古代木簡集成』東京大学出版会	2003年
○櫻井友梓	「岩手・柳之御所跡」(『木簡研究』35)	2013年
柳之御所跡 (31次) [やなぎのごしよ] 【18】 西磐井郡平泉町		
古代居館 91.4 - 91.12 6点 (財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター		
○岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	『柳之御所跡 (本文・図版編) (写真図版編) (考察編) —— 閑遊水池事業・平泉バイパス建設関連第21・23・28・31・36・41次発掘調査報告』 (岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書228)	1995年
○三浦謙一	「岩手・柳之御所跡」(『木簡研究』28)	2006年
柳之御所跡 (41次) [やなぎのごしよ] 【19】 西磐井郡平泉町		
古代居館 93.4 - 93.12 3点 (財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター		
○岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	『柳之御所跡 (本文・図版編) (写真図版編) (考察編) —— 閑遊水池事業・平泉バイパス建設関連第21・23・28・31・36・41次発掘調査報告』 (岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書228)	1995年
○三浦謙一	「岩手・柳之御所跡」(『木簡研究』28)	2006年
柳之御所遺跡 (53次) [やなぎのごしよ] 【19】 西磐井郡平泉町		
古代居館 00.4 - 00.5 4点 平泉町教育委員会		
○平泉町・平泉観光推進実行委員会	『柳之御所資料館 第1回特別展図録』	2000年
○平泉町教委	『平泉遺跡群発掘調査略報』(岩手県平泉町文化財調査報告書77)	2001年
○菅原計二	「岩手・柳之御所跡(2)」(『木簡研究』27)	2005年
○平泉町教委	『平泉遺跡群考古資料精選Ⅰ』(岩手県平泉町文化財調査報告書111)	2009年
○平泉町教委	『平泉遺跡群考古資料精選Ⅱ』(岩手県平泉町文化財調査報告書112)	2009年
柳之御所遺跡 (55次) [やなぎのごしよ] 【19】 西磐井郡平泉町		
古代居館 01.5 - 01.11 1点 岩手県教育委員会		
○岩手県教委	『平泉遺跡群発掘調査報告書 柳之御所遺跡—第55次発掘調査概報』(岩手県文化財調査報告書113)	2002年
○三浦謙一	「岩手・柳之御所跡」(『木簡研究』28)	2006年
柳之御所遺跡 (56次) [やなぎのごしよ] 西磐井郡平泉町		
古代居館 02.5 - 02.11 1点 岩手県教育委員会		
○岩手県教委	『平泉遺跡群発掘調査報告書 柳之御所遺跡—第56次発掘調査概報』(岩手県文化財調査報告書117)	2003年
○三浦謙一	「岩手・柳之御所跡」(『木簡研究』28)	2006年
柳之御所遺跡 (69次) [やなぎのごしよ] 西磐井郡平泉町		
古代居館 08.5 - 08.12 2点 岩手県教育委員会		
○岩手県教委	『平泉遺跡群発掘調査報告書 柳之御所遺跡—第69次発掘調査概報』(岩手県	2010年

○櫻井友梓	文化財調査報告書130) 「岩手・柳之御所跡」(『木簡研究』35)	2013年
柳之御所遺跡(70次) 〔やなぎのごしよ〕 西磐井郡平泉町		
古代居館 09.5 - 09.10 11点 岩手県教育委員会		
○岩手県教委	『平泉遺跡群発掘調査報告書 柳之御所遺跡一第70次発掘調査概報』(岩手県文化財調査報告書133)	2011年
○櫻井友梓	「岩手・柳之御所跡」(『木簡研究』35)	2013年
毛越寺跡(12次) 〔もうつうじ〕【I9】 西磐井郡平泉町		
古代寺院・庭園 88.7 6点 平泉町教育委員会		
○平泉町教委	『毛越寺庭園発掘調査報告書 第12次調査』(岩手県平泉町文化財調査報告書14)	1989年
○及川司	「岩手・毛越寺跡」(『木簡研究』28)	2006年
毛越寺跡(13次) 〔もうつうじ〕【I9】 西磐井郡平泉町		
古代寺院・庭園 90.7 - 90.10 1点 平泉町教育委員会		
○平泉町教委	『毛越寺庭園発掘調査報告書 第13次調査』(岩手県平泉町文化財調査報告書26)	1991年
○及川司	「岩手・毛越寺跡」(『木簡研究』28)	2006年
花立Ⅱ遺跡(1次) 〔はなだて〕【I9】 西磐井郡平泉町		
中世集落 90.10 - 90.12 1点 平泉町教育委員会		
○平泉町教委・建設省岩手県事務所	『花立Ⅱ遺跡 第1次発掘調査報告書—国道4号鈴沢歩道工事に伴う発掘調査』(岩手県平泉町文化財調査報告書25)	1991年
○及川司	「岩手・花立Ⅱ遺跡」(『木簡研究』27)	2005年
花立Ⅱ遺跡(3次) 〔はなだて〕【I9】 西磐井郡平泉町		
中世集落 93.10 - 93.12 2点 平泉町教育委員会		
○平泉町教委	『平泉遺跡群発掘調査報告書』(岩手県平泉町文化財調査報告書43)	1994年
○菅原計二	「岩手・花立Ⅱ遺跡」(『木簡研究』17)	1995年
○平泉町教委	『平泉遺跡群考古資料精選Ⅱ』(岩手県平泉町文化財調査報告書112)	2009年
志羅山遺跡(14次) 〔しらやま〕 西磐井郡平泉町		
古代集落 92.4 - 92.7 1点 (財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター		
○岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	『志羅山遺跡 第14・25次発掘調査報告書—閑遊水地事業関連遺跡発掘調査』(岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書216)	1995年
○櫻井友梓・伊藤みどり	「岩手・志羅山遺跡(1)」(『木簡研究』35)	2013年
志羅山遺跡(28次) 〔しらやま〕【I10】 西磐井郡平泉町		
中世集落 93.11 2点 平泉町教育委員会		
○平泉町教委	『平泉遺跡群発掘調査報告書—片岡2遺跡第1次、伽羅之御所跡第6次、毛越5遺跡第1・2次、志羅山遺跡第24・28次、新山権現社遺跡第3次、瀬原2遺跡第1次、月館1遺跡2次、月館2遺跡第1次、花立1遺跡第6次、柳之御所跡第43次』(岩手県平泉町文化財調査報告書40)	1994年
○菅原計二	「岩手・志羅山遺跡」(『木簡研究』17)	1995年
○平泉町教委	『平泉遺跡群考古資料精選Ⅰ』(岩手県平泉町文化財調査報告書111)	2009年
志羅山遺跡(33次) 〔しらやま〕 西磐井郡平泉町		
中世集落 94.6 - 94.8 1点 平泉町教育委員会		
○平泉町教委	『平泉遺跡群発掘調査報告書—泉屋遺跡第14次、伽羅之御所跡第8次、祇園Ⅰ遺跡第1次、毛越Ⅵ遺跡第1次、志羅山遺跡第33・34・36次、鈴沢の池跡第1次、花立Ⅰ遺跡第8次、花立Ⅱ遺跡第4次、無量光院跡第4次、柳之御所跡第46次』(岩手県平泉町文化財調査報告書47)	1995年
○菅原計二	「岩手・志羅山遺跡(2)」(『木簡研究』35)	2013年
志羅山遺跡(61次) 〔しらやま〕【I10】 西磐井郡平泉町		
古代集落 96.6 - 96.7 2点 平泉町教育委員会		
○菅原計二	「岩手・志羅山遺跡」(『木簡研究』19)	1997年
○平泉町教委	『平泉遺跡群考古資料精選Ⅰ』(岩手県平泉町文化財調査報告書111)	2009年

北海道・東北

- 平泉町教委 : 『平泉遺跡群発掘調査報告書』(岩手県平泉町文化財調査報告書63) :
- 志羅山遺跡(62次)**〔しらやま〕【I10】 西磐井郡平泉町
 古代集落 96.6 1点 平泉町教育委員会
- 菅原計二 : 『岩手・志羅山遺跡』(『木簡研究』19) : 1997年
- 平泉町教委 : 『平泉遺跡群考古資料精選I』(岩手県平泉町文化財調査報告書111) : 2009年
- 平泉町教委 : 『平泉遺跡群発掘調査報告書』(岩手県平泉町文化財調査報告書64) :
- 志羅山遺跡(71次)**〔しらやま〕※ 西磐井郡平泉町
 中世集落 97.9 - 97.10 3点 平泉町教育委員会
- 平泉町教委 : 『志羅山遺跡 第69・71次発掘調査報告書—毛越寺線都市計画街路整備事業に伴う調査』(岩手県平泉町文化財調査報告書71) : 1998年
- 平泉町教委 : 『平泉遺跡群考古資料精選I』(岩手県平泉町文化財調査報告書111) : 2009年
- 志羅山遺跡(77次)**〔しらやま〕【I10】 西磐井郡平泉町
 古代集落 98.6 - 98.8 8点 平泉町教育委員会
- 平泉町教委 : 『志羅山遺跡 第75・77・78次発掘調査報告書—毛越寺線都市計画街路整備に伴う調査』(岩手県平泉町文化財調査報告書76) : 1999年
- 鈴木江利子 : 『岩手・志羅山遺跡』(『木簡研究』21) : 1999年
- 平泉町教委 : 『平泉遺跡群考古資料精選I』(岩手県平泉町文化財調査報告書111) : 2009年
- 志羅山遺跡(82次)**〔しらやま〕【I10】 西磐井郡平泉町
 古代集落 99.9 - 99.10 3点 平泉町教育委員会
- 及川司 : 『岩手・志羅山遺跡(2)』(『木簡研究』22) : 2000年
- 平泉町教委 : 『平泉遺跡群発掘調査報告書』(岩手県平泉町文化財調査報告書75) : 2001年
- 平泉町教委 : 『平泉遺跡群考古資料精選II』(岩手県平泉町文化財調査報告書112) : 2009年
- 志羅山遺跡(88次)**〔しらやま〕【I10】 西磐井郡平泉町
 古代都市 01.11 - 02.1 10点 平泉町教育委員会
- 平泉町教委 : 『平泉遺跡群発掘調査略報—泉屋遺跡第25次、窟Ⅱ遺跡第1次、倉町遺跡第3次、毛越Ⅴ遺跡第4・5次、志羅山遺跡第87・88次、鈴沢の池跡第2次、高衡館跡第1次、中尊寺第61次Ⅱ期・63・64次、花立Ⅱ遺跡第15・16次、三日町Ⅲ遺跡第1次』(岩手県平泉町文化財調査報告書78) : 2002年
- 菅原計二 : 『岩手・志羅山遺跡』(『木簡研究』25) : 2003年
- 平泉町教委 : 『平泉遺跡群考古資料精選I』(岩手県平泉町文化財調査報告書111) : 2009年
- 志羅山遺跡(94次)**〔しらやま〕 西磐井郡平泉町
 中世屋敷 06.4 - 06.6 21点 平泉町教育委員会
- 鈴木江利子 : 『岩手・志羅山遺跡』(『木簡研究』29) : 2007年
- 平泉町教委 : 『平泉遺跡群発掘調査報告書—伽羅之御所跡第18次、祇園Ⅱ遺跡第2次、倉町遺跡第11・12次、坂下遺跡第11次、志羅山遺跡第94・95次、中尊寺跡第72次、花立Ⅱ遺跡第21次、三日町Ⅲ遺跡第4次、柳之御所遺跡第66次』(岩手県平泉町文化財調査報告書108) : 2008年

宮城県

- 郡山遺跡(15次)**〔こおりやま〕【I11】 仙台市
 古代官衙 81.10 - 81.12 3点 仙台市教育委員会
- 仙台市教委 : 『郡山遺跡Ⅱ—昭和56年度発掘調査概報』(仙台市文化財調査報告書38) : 1982年
- 木村浩二・平川南 : 『宮城・郡山遺跡』(『木簡研究』4) : 1982年
- 木簡学会編 : 『日本古代木簡選』岩波書店 : 1990年
- 仙台市教委 : 『郡山遺跡発掘調査報告書—総括編(1)・総括編(2)・付図』(仙台市文化財報告書283) : 2005年

仙台城二の丸跡（第4地点） 〔せんだいじょうにのまる〕【I11】 仙台市		
近世城郭 87.7 - 89.9 1点 東北大学埋蔵文化財調査委員会		
○ 東北大学埋蔵文化財調査委員会	『東北大学埋蔵文化財調査年報4・5』	1992年
○ 柴田恵子	「宮城・仙台城跡（二の丸地区）」（『木簡研究』26）	2004年
仙台城二の丸跡（第12地点） 〔せんだいじょう〕【I11】 仙台市		
近世城郭 93.6 - 93.10 73点 東北大学埋蔵文化財調査委員会		
○ 東北大学埋蔵文化財調査委員会	『東北大学埋蔵文化財調査年報11』	1999年
○ 柴田恵子	「宮城・仙台城跡（二の丸地区）」（『木簡研究』26）	2004年
仙台城二の丸跡（第17地点） 〔せんだいじょう〕【I11】 仙台市		
近世城郭 00.3 - 00.12 5点 東北大学埋蔵文化財調査研究センター		
○ 柴田恵子	「宮城・仙台城跡（二の丸地区）」（『木簡研究』26）	2004年
○ 東北大学埋蔵文化財調査研究センター	『東北大学埋蔵文化財調査年報18—仙台城跡二ノ丸第17地点の調査』	2005年
仙台城本丸跡（1次） 〔せんだいじょう〕【I11】 仙台市		
近世城郭 97.7 - 00.12 29点 仙台市教育委員会		
○ 仙台市教委	『仙台城本丸跡の発掘 改訂版』（仙台市文化財パンフレット43）	2000年
○ 金森安孝	「宮城・仙台城本丸跡」（『木簡研究』23）	2001年
○ 仙台市教委	『仙台城本丸跡 1次調査—石垣修復工事に伴う発掘調査報告書（第1分冊 本文編）（第2分冊 遺構編）（第3分冊 出土遺物編）』	2005年
史跡仙台城跡（16次） 〔せんだいじょう〕 仙台市		
近世城郭 06.9 - 06.11 1点 仙台市教育委員会		
○ 仙台市教委	『仙台城跡7 平成18年度調査報告書』（仙台市文化財調査報告書309）	2007年
○ 鹿野仁子	「宮城・仙台城跡」（『木簡研究』29）	2007年
史跡仙台城跡（清水門跡周辺整備事業） 〔せんだいじょう〕 仙台市		
近世城郭 05.12 - 06.1 1点 仙台市教育委員会		
○ 仙台市教委	『仙台城跡地震災害石垣復旧事業及び史跡整備事業報告書 中門跡・清水門跡』（仙台市文化財調査報告書299）	2006年
○ 渡部紀	「宮城・史跡仙台城跡」（『木簡研究』30）	2008年
仙台城跡造酒屋敷地区（23次） 〔せんだいじょう〕 仙台市		
近世城郭 05.12 - 06.1 35点 仙台市教育委員会		
○ 仙台市教委	『仙台城跡10 平成21年度調査報告書—仙台城本丸大広間跡調査成果の総括』（仙台市文化財調査報告書374）	2010年
○ 佐藤淳	「宮城・仙台城造酒屋敷跡」（『木簡研究』34）	2012年
仙台城跡二の丸北方武家屋敷地区（第7地点） 〔せんだいじょう〕【I11】 仙台市		
近世武家屋敷 01.5 - 01.11 594点 東北大学埋蔵文化財調査研究センター		
○ 佐竹輝昭・兼平賢治・大藤修・藤沢敦・京野恵子・高木暢亮	「宮城・仙台城跡（二の丸北方武家屋敷地区）」（『木簡研究』25）	2003年
○ 東北大学埋蔵文化財調査研究センター	『東北大学埋蔵文化財調査年報19（第1分冊）—仙台城跡二の丸北方武家屋敷地区第7地点の調査 芦ノ口遺跡第5次調査』	2006年
○ 東北大学埋蔵文化財調査研究センター	『東北大学埋蔵文化財調査年報19（第3分冊）—仙台城跡二の丸北方武家屋敷地区第7地点の調査出土遺物2（木簡・墨書ある木製品）』	2007年
○ 東北大学埋蔵文化財調査研究センター	『東北大学埋蔵文化財調査年報19（第5分冊）—仙台城跡二の丸北方武家屋敷地区第7地点の調査 分析・考察』	2010年
若林城跡（3次） 〔わかばやしじょう〕【I12】 仙台市		
近世城郭 99.8 - 99.10 5点 仙台市教育委員会		
○ 仙台市教委	『若林城跡 第3次発掘調査報告書』（仙台市文化財調査報告書256）	2002年
○ 渡部弘美	「宮城・若林城跡」（『木簡研究』27）	2005年

洞ノ口遺跡（1次）〔どうのくち〕 仙台市

- 中世城館 94.4 - 94.12 78点 仙台市教育委員会
- 仙台市教委 『洞ノ口遺跡—第1次・2次・4次・5次・7次・10次発掘調査報告書（第1分冊 本文編(1)）（第2分冊 本文編(2)）（第3分冊 写真図版編）（第4分冊 自然科学分析編）』（仙台市文化財調査報告書281）
 - 平間亮輔 「宮城・洞ノ口遺跡」（『木簡研究』30）

洞ノ口遺跡（2次）〔どうのくち〕 仙台市

- 中世城館 99.9 - 99.12 1点 仙台市教育委員会
- 仙台市教委 『洞ノ口遺跡—第1次・2次・4次・5次・7次・10次発掘調査報告書（第1分冊 本文編(1)）（第2分冊 本文編(2)）（第3分冊 写真図版編）（第4分冊 自然科学分析編）』（仙台市文化財調査報告書281）
 - 平間亮輔 「宮城・洞ノ口遺跡」（『木簡研究』30）

洞ノ口遺跡（4次）〔どうのくち〕【I12】 仙台市

- 中世城館 00.4 - 00.12 1点 仙台市教育委員会
- 平間亮輔・吉田和正 「宮城・洞ノ口遺跡」（『木簡研究』23）
 - 仙台市教委 『洞ノ口遺跡—第1次・2次・4次・5次・7次・10次発掘調査報告書（第1分冊 本文編(1)）（第2分冊 本文編(2)）（第3分冊 写真図版編）（第4分冊 自然科学分析編）』（仙台市文化財調査報告書281）

中野高柳遺跡（01年度調査）〔なかのたかやなぎ〕【I12】 仙台市

- 古代集落 01.4 - 01.11 1点 宮城県教育委員会
- 村田晃一・吉野武 「宮城・中野高柳遺跡」（『木簡研究』24）
 - 宮城県教委・宮城県土木部 『中野高柳遺跡Ⅰ—宮城県仙台港背後地土地区画整理事業関連調査報告書Ⅰ』（宮城県文化財調査報告書194）
 - 宮城県教委・宮城県土木部 『中野高柳遺跡Ⅲ—宮城県仙台港背後地土地区画整理事業関連調査報告書Ⅲ』（宮城県文化財調査報告書201）

竹ノ内遺跡〔たけのうち〕 仙台市

- 近世屋敷地 03.8 - 03.10 1点 宮城県教育委員会
- 村田晃一・吉野武 「宮城・竹ノ内遺跡」（『木簡研究』26）

多賀城跡外郭南面中央部（8次）〔たがじょう〕【I12】 多賀城市（旧、宮城郡多賀城町）

- 古代官衙 70.4 - 70.6 2点 宮城県多賀城跡調査研究所
- 多賀城跡調査研究所 『多賀城跡 昭和45年度発掘調査概報—宮城県多賀城跡調査研究所年報1970』
 - 平川南 「多賀城跡出土の木簡」（奈文研『第1回木簡研究集会記録』）
 - 平川南 「東北地方出土の木簡について」（『木簡研究』1）
 - 多賀城跡調査研究所 『多賀城跡木簡Ⅰ（本文編）』（宮城県多賀城跡調査研究所資料Ⅱ）
 - 多賀城跡調査研究所 『多賀城跡木簡Ⅰ（図版編）』（宮城県多賀城跡調査研究所資料Ⅱ）

多賀城跡外郭東南隅（11次）〔たがじょう〕【I12】 多賀城市（旧、宮城郡多賀城町）

- 古代官衙 71.3 2点 宮城県多賀城跡調査研究所
- 多賀城跡調査研究所 『多賀城跡 昭和45年度発掘調査概報—宮城県多賀城跡調査研究所年報1970』
 - 平川南 「多賀城跡出土の木簡」（奈文研『第1回木簡研究集会記録』）
 - 平川南 「東北地方出土の木簡について」（『木簡研究』1）
 - 多賀城跡調査研究所 『多賀城跡木簡Ⅰ（本文編）』（宮城県多賀城跡調査研究所資料Ⅱ）
 - 多賀城跡調査研究所 『多賀城跡木簡Ⅰ（図版編）』（宮城県多賀城跡調査研究所資料Ⅱ）

多賀城跡外郭南辺中央部（20次）〔たがじょう〕【I12】 多賀城市

- 古代官衙 73.7 - 73.8 1点 宮城県多賀城跡調査研究所
- 多賀城跡調査研究所 『多賀城跡 昭和48年度発掘調査概報—宮城県多賀城跡調査研究所年報1973』
 - 平川南 「多賀城跡出土の木簡」（奈文研『第1回木簡研究集会記録』）
 - 平川南 「東北地方出土の木簡について」（『木簡研究』1）
 - 多賀城跡調査研究所 『多賀城跡木簡Ⅰ（本文編）』（宮城県多賀城跡調査研究所資料Ⅱ）
 - 多賀城跡調査研究所 『多賀城跡木簡Ⅰ（図版編）』（宮城県多賀城跡調査研究所資料Ⅱ）

多賀城跡外郭東南部地区（24次）〔たがじょう〕【I12】 多賀城市

- 古代官衙 74.8 - 74.12 55点 宮城県多賀城跡調査研究所
- 多賀城跡調査研究所 『多賀城跡 昭和49年度発掘調査概報—宮城県多賀城跡調査研究所年報1974』

○平川南	『多賀城跡出土の木簡』（奈文研『第1回木簡研究集会記録』）	1976年
○平川南	『東北地方出土の木簡について』（『木簡研究』1）	1979年
○木簡学会編	『日本古代木簡選』岩波書店	1990年
○多賀城跡調査研究所	『多賀城跡木簡Ⅰ（本文編）』（宮城県多賀城跡調査研究所資料Ⅱ）	2011年
○多賀城跡調査研究所	『多賀城跡木簡Ⅰ（図版編）』（宮城県多賀城跡調査研究所資料Ⅱ）	2012年
多賀城跡雀山地区南低湿地（34次）〔たがじょう〕【I13】 多賀城市		
古代官衙 79.4 - 79.10 3点 宮城県多賀城跡調査研究所		
○多賀城跡調査研究所	『多賀城跡 昭和54年度発掘調査概報—宮城県多賀城跡調査研究所年報1979』	1980年
○平川南	『宮城・多賀城跡』（『木簡研究』3）	1981年
○多賀城跡調査研究所	『多賀城跡木簡Ⅰ（本文編）』（宮城県多賀城跡調査研究所資料Ⅱ）	2011年
○多賀城跡調査研究所	『多賀城跡木簡Ⅰ（図版編）』（宮城県多賀城跡調査研究所資料Ⅱ）	2012年
多賀城跡外郭南辺南方（37次）〔たがじょう〕【I13】 多賀城市		
古代官衙 80.9 - 80.11 1点 宮城県多賀城跡調査研究所		
○多賀城跡調査研究所	『多賀城跡 昭和55年度発掘調査概報—宮城県多賀城跡調査研究所年報1980』	1981年
○平川南	『宮城・多賀城跡』（『木簡研究』3）	1981年
○多賀城跡調査研究所	『多賀城跡木簡Ⅰ（本文編）』（宮城県多賀城跡調査研究所資料Ⅱ）	2011年
○多賀城跡調査研究所	『多賀城跡木簡Ⅰ（図版編）』（宮城県多賀城跡調査研究所資料Ⅱ）	2012年
多賀城跡外郭東地域南部（38次）〔たがじょう〕【I13】 多賀城市		
古代官衙 81.4 - 81.6 1点 宮城県多賀城跡調査研究所		
○多賀城跡調査研究所	『多賀城跡 昭和56年度発掘調査概報—宮城県多賀城跡調査研究所年報1981』	1982年
○佐藤則之	『宮城・多賀城跡』（『木簡研究』4）	1982年
○多賀城跡調査研究所	『多賀城跡木簡Ⅰ（本文編）』（宮城県多賀城跡調査研究所資料Ⅱ）	2011年
○多賀城跡調査研究所	『多賀城跡木簡Ⅰ（図版編）』（宮城県多賀城跡調査研究所資料Ⅱ）	2012年
多賀城跡外郭東地域南部（40次）〔たがじょう〕【I13】 多賀城市		
古代官衙 81.1 2点 宮城県多賀城跡調査研究所		
○佐藤則之	『宮城・多賀城跡』（『木簡研究』4）	1982年
○多賀城跡調査研究所	『多賀城跡 昭和57年度発掘調査概報—宮城県多賀城跡調査研究所年報1982』	1983年
○多賀城跡調査研究所	『多賀城跡木簡Ⅰ（本文編）』（宮城県多賀城跡調査研究所資料Ⅱ）	2011年
○多賀城跡調査研究所	『多賀城跡木簡Ⅰ（図版編）』（宮城県多賀城跡調査研究所資料Ⅱ）	2012年
多賀城跡外郭東辺地区（41次）〔たがじょう〕【I13】 多賀城市		
古代官衙 82.6 - 82.12 3点 宮城県多賀城跡調査研究所		
○多賀城跡調査研究所	『多賀城跡 昭和57年度発掘調査概報—宮城県多賀城跡調査研究所年報1982』	1983年
○後藤秀・佐藤和彦	『宮城・多賀城跡』（『木簡研究』5）	1983年
○多賀城跡調査研究所	『多賀城跡木簡Ⅰ（本文編）』（宮城県多賀城跡調査研究所資料Ⅱ）	2011年
○多賀城跡調査研究所	『多賀城跡木簡Ⅰ（図版編）』（宮城県多賀城跡調査研究所資料Ⅱ）	2012年
多賀城跡外郭中央地区南部（44次）〔たがじょう〕【I13】 多賀城市		
古代官衙 83.8 - 83.12 283点 宮城県多賀城跡調査研究所		
○多賀城跡調査研究所	『多賀城跡 昭和58年度発掘調査概報—宮城県多賀城跡調査研究所年報1983』	1984年
○佐藤和彦	『宮城・多賀城跡』（『木簡研究』6）	1984年
○木簡学会編	『日本古代木簡選』岩波書店	1990年
○多賀城跡調査研究所	『多賀城跡木簡Ⅱ（本文編）』（宮城県多賀城跡調査研究所資料Ⅲ）	2013年
○多賀城跡調査研究所	『多賀城跡木簡Ⅱ（図版編）』（宮城県多賀城跡調査研究所資料Ⅲ）	2013年
多賀城跡外郭線西辺中央部（47次）〔たがじょう〕【I13】 多賀城市		
古代官衙 84.9 - 84.12 9点 宮城県多賀城跡調査研究所		
○多賀城跡調査研究所	『多賀城跡 昭和59年度発掘調査概報—宮城県多賀城跡調査研究所年報1984』	1985年
○高野芳宏・佐藤和彦	『宮城・多賀城跡』（『木簡研究』7）	1985年
○多賀城跡調査研究所	『多賀城跡木簡Ⅱ（本文編）』（宮城県多賀城跡調査研究所資料Ⅲ）	2013年
○多賀城跡調査研究所	『多賀城跡木簡Ⅱ（図版編）』（宮城県多賀城跡調査研究所資料Ⅲ）	2013年
多賀城跡（大畑地区）（60次）〔たがじょう〕【I13】 多賀城市		
古代官衙 91.5 - 91.12 43点 宮城県多賀城跡調査研究所		
○多賀城跡調査研究所	『多賀城跡—宮城県多賀城跡調査研究所年報1991』	1992年
○鈴木拓也	『宮城・多賀城跡』（『木簡研究』14）	1992年

- 多賀城跡調査研究所 : 『多賀城跡木簡Ⅱ(本文編)』(宮城県多賀城跡調査研究所資料Ⅲ) : 2013年
- 多賀城跡調査研究所 : 『多賀城跡木簡Ⅱ(図版編)』(宮城県多賀城跡調査研究所資料Ⅲ) : 2013年

多賀城跡(鴻ノ池地区)(61次)[たがじょう]【I13】 多賀城市

- 古代官衙 91.10 - 91.11 4点 宮城県多賀城跡調査研究所
- 多賀城跡調査研究所 : 『多賀城跡一宮城県多賀城跡調査研究所年報1991』 : 1992年
- 鈴木拓也 : 「宮城・多賀城跡」(『木簡研究』14) : 1992年
- 多賀城跡調査研究所 : 『多賀城跡木簡Ⅱ(本文編)』(宮城県多賀城跡調査研究所資料Ⅲ) : 2013年
- 多賀城跡調査研究所 : 『多賀城跡木簡Ⅱ(図版編)』(宮城県多賀城跡調査研究所資料Ⅲ) : 2013年

多賀城跡(鴻ノ池地区)(81次)[たがじょう] 多賀城市

- 古代官衙 09.5 - 09.11 1点 宮城県多賀城跡調査研究所
- 多賀城跡調査研究所 : 『多賀城跡一宮城県多賀城跡調査研究所年報2009』 : 2010年
- 吉野武 : 「宮城・多賀城跡」(『木簡研究』32) : 2010年
- 多賀城跡調査研究所 : 『多賀城跡木簡Ⅱ(本文編)』(宮城県多賀城跡調査研究所資料Ⅲ) : 2013年
- 多賀城跡調査研究所 : 『多賀城跡木簡Ⅱ(図版編)』(宮城県多賀城跡調査研究所資料Ⅲ) : 2013年

多賀城跡(五万崎地区)(83次)[たがじょう] 多賀城市

- 古代官衙 11.6 - 11.11 1点 宮城県多賀城跡調査研究所
- 多賀城跡調査研究所 : 『多賀城跡一宮城県多賀城跡調査研究所年報2011』 : 2012年
- 多賀城跡調査研究所 : 『多賀城跡一宮城県多賀城跡調査研究所年報2012』 : 2013年
- 多賀城跡調査研究所 : 『多賀城跡木簡Ⅱ(本文編)』(宮城県多賀城跡調査研究所資料Ⅲ) : 2013年
- 多賀城跡調査研究所 : 『多賀城跡木簡Ⅱ(図版編)』(宮城県多賀城跡調査研究所資料Ⅲ) : 2013年
- 吉野武 : 「宮城・多賀城跡」(『木簡研究』35) : 2013年

市川橋遺跡(25次)[いちかわばし]【I14】 多賀城市

- 古代都市 98.6 - 98.12 1点 多賀城市埋蔵文化財調査センター
- 多賀城市埋文調査センター・多賀城市教委 : 『市川橋遺跡』(多賀城市文化財調査報告書57) : 1999年
- 武田健市 : 「宮城・市川橋遺跡」(『木簡研究』22) : 2000年
- 多賀城市埋文調査センター・多賀城市教委 : 『市川橋遺跡一城南土地区画整理事業に伴う発掘調査報告書Ⅰ』(多賀城市文化財調査報告書60) : 2001年
- 多賀城市埋文調査センター・多賀城市教委 : 『市川橋遺跡一城南土地区画整理事業に伴う発掘調査報告書Ⅲ(第1分冊)(第2分冊)(第3分冊)』(多賀城市文化財調査報告書75) : 2004年

市川橋遺跡(26次)[いちかわばし]【I14】 多賀城市

- 古代都市 99.4 - 00.2 3点 多賀城市埋蔵文化財調査センター
- 多賀城市埋文調査センター・多賀城市教委 : 『市川橋遺跡一城南土地区画整理事業に伴う発掘調査略報2』(多賀城市文化財調査報告書59) : 2000年
- 千葉孝弥・鈴木孝行 : 「宮城・市川橋遺跡」(『木簡研究』23) : 2001年
- 多賀城市埋文調査センター・多賀城市教委 : 『市川橋遺跡一城南土地区画整理事業に伴う発掘調査報告書Ⅱ』(多賀城市文化財調査報告書70) : 2003年
- 多賀城市埋文調査センター・多賀城市教委 : 『市川橋遺跡一城南土地区画整理事業に伴う発掘調査報告書Ⅲ(第1分冊)(第2分冊)(第3分冊)』(多賀城市文化財調査報告書75) : 2004年

市川橋遺跡(27次)[いちかわばし]【I14】 多賀城市

- 古代都市 00.4 - 01.3 10点 多賀城市埋蔵文化財調査センター
- 多賀城市埋文調査センター・多賀城市教委 : 『市川橋遺跡一城南土地区画整理事業に伴う発掘調査略報3』(多賀城市文化財調査報告書64) : 2001年
- 千葉孝弥・鈴木孝行 : 「宮城・市川橋遺跡」(『木簡研究』23) : 2001年
- 多賀城市埋文調査センター・多賀城市教委 : 『市川橋遺跡一城南土地区画整理事業に伴う発掘調査報告書Ⅱ』(多賀城市文化財調査報告書70) : 2003年
- 多賀城市埋文調査センター・多賀城市教委 : 『市川橋遺跡一城南土地区画整理事業に伴う発掘調査報告書Ⅲ(第1分冊)(第2分冊)(第3分冊)』(多賀城市文化財調査報告書75) : 2004年

市川橋遺跡(28次)[いちかわばし]【I14】 多賀城市

- 古代都市 01.4 - 01.12 64点 多賀城市埋蔵文化財調査センター
- 多賀城市埋文調査センター・多賀城市教委 : 『市川橋遺跡一城南土地区画整理事業に伴う発掘調査略報4』(多賀城市文化財調査報告書67) : 2002年
- 千葉孝弥・鈴木孝行 : 「宮城・市川橋遺跡」(『木簡研究』24) : 2002年

- 多賀城市埋文調査セン：『市川橋遺跡一城南土地区画整理事業に伴う発掘調査報告書Ⅱ』（多賀城市文：2003年
ター・多賀城市教委 化財調査報告書70）
- 多賀城市埋文調査セン：『市川橋遺跡一城南土地区画整理事業に伴う発掘調査報告書Ⅲ（第1分冊）（第：2004年
ター・多賀城市教委 2分冊）（第3分冊）』（多賀城市文化財調査報告書75）

市川橋遺跡（29次）〔いちかわばし〕【I15】 多賀城市

古代都市 02.4 - 02.5、02.7 - 02.10 10点 多賀城市埋蔵文化財調査センター

- 多賀城市埋文調査セン：『市川橋遺跡一城南土地区画整理事業に伴う発掘調査略報5』（多賀城市文化：2003年
ター・多賀城市教委 財調査報告書68）
- 多賀城市埋文調査セン：『市川橋遺跡一城南土地区画整理事業に伴う発掘調査報告書Ⅱ』（多賀城市文：2003年
ター・多賀城市教委 化財調査報告書70）
- 千葉孝弥・廣瀬真理子：「宮城・市川橋遺跡」（『木簡研究』25） 2003年
- 多賀城市埋文調査セン：『市川橋遺跡一城南土地区画整理事業に伴う発掘調査報告書Ⅲ（第1分冊）（第：2004年
ター・多賀城市教委 2分冊）（第3分冊）』（多賀城市文化財調査報告書75）

市川橋遺跡（37次）〔いちかわばし〕 多賀城市

古代都市 03.6 - 03.7 5点 多賀城市埋蔵文化財調査センター

- 多賀城市埋文調査セン：『市川橋遺跡 第34・35・37・38次調査報告書』（多賀城市文化財調査報告書7：2004年
ター・多賀城市教委 4）
- 武田健市：「宮城・市川橋遺跡」（『木簡研究』26） 2004年

市川橋遺跡（45次）〔いちかわばし〕 多賀城市

古代都市 04.5 - 04.9 2点 多賀城市埋蔵文化財調査センター

- 多賀城市埋文調査セン：『市川橋遺跡 第45次調査報告書』（多賀城市文化財調査報告書76） 2005年
ター・多賀城市教委
- 鈴木孝行：「宮城・市川橋遺跡」（『木簡研究』27） 2005年

山王遺跡（八幡地区）（89年度調査）〔さんのう〕【I15】 多賀城市

古代都市 89.6 - 89.12 1点 宮城県教育委員会

- 宮城県教委：『山王遺跡一仙塩道路建設関係遺跡八幡地区概要』（宮城県文化財調査報告書：1990年
138）
- 吉野武：「宮城・山王遺跡（八幡地区）」（『木簡研究』29） 2007年

山王遺跡（八幡地区）（93年度調査）〔さんのう〕【I15追】 多賀城市

古代都市 93.3 - 93.12 1点 宮城県教育委員会

- 吉野武：「宮城・山王遺跡」（『木簡研究』16） 1994年
- 宮城県教委：『山王遺跡Ⅴ（第1分冊 八幡地区）（第2分冊 伏石地区・考察）』（宮城県文化：1997年
財調査報告書174）

長徳寺前遺跡〔ちょうとくじまえ〕 岩沼市

近世宗教施設 03.2 - 03.3 1点 岩沼市教育委員会

- 川又隆央：「宮城・長徳寺前遺跡」（『木簡研究』26） 2004年
- 岩沼市教委：『長徳寺前遺跡 発掘調査報告書』（宮城県岩沼市文化財調査報告書5） 2005年

権現山遺跡（12年度調査）〔ごんげんやま〕 大崎市

古代官衙 12.5 - 13.1 1点 大崎市教育委員会

- 佐藤優：「宮城・権現山遺跡」（『木簡研究』35） 2013年

瑞巖寺境内遺跡（第1回試掘）（旧、円福寺遺跡）〔ずいがんじけいだい〕【I17】 宮城郡松島町

中世近世寺院 91.3 - 91.4 1点 瑞巖寺博物館

- 新野一浩：「宮城・円福寺遺跡」（『木簡研究』14） 1992年
- 瑞巖寺博物館：『瑞巖寺境内遺跡試掘調査概報（平成3・4年度）』 1993年
- 瑞巖寺：『瑞巖寺境内遺跡一新宝物殿建設に伴う発掘調査報告書（第1分冊）（第2分冊）』 2009年

瑞巖寺境内遺跡（本調査）〔ずいがんじけいだい〕【I17】 宮城郡松島町

中世近世寺院 92.6 - 93.10 372点 瑞巖寺博物館

- 新野一浩：「宮城・瑞巖寺境内遺跡」（『木簡研究』15） 1993年
- 瑞巖寺：『瑞巖寺境内遺跡一新宝物殿建設に伴う発掘調査報告書（第1分冊）（第2分冊）』 2009年

- 壇の越遺跡（9次）**〔だんのこし〕 加美郡加美町
 古代官衙関連・集落 05.4 - 05.11 1点 加美町教育委員会
- 齊藤篤・吉野武 : 『宮城・壇の越遺跡』（『木簡研究』28） : 2006年
 - 加美町教委 : 『壇の越遺跡ⅩⅦ—平成17・18年度発掘調査報告書』（加美町文化財調査報告書13） : 2008年
- 壇の越遺跡（10次）**〔だんのこし〕 加美郡加美町
 古代官衙関連・集落 06.5 - 06.11 1点 加美町教育委員会
- 村田晃一・齊藤篤 : 『宮城・壇の越遺跡』（『木簡研究』29） : 2007年
 - 加美町教委 : 『壇の越遺跡ⅩⅧ—平成18年度発掘調査報告書』（加美町文化財調査報告書14） : 2008年
- 一本柳遺跡（1次）**〔いっぽんやなぎ〕【I17】 遠田郡美里町（旧、遠田郡小牛田町）
 中世近世集落 95.8 - 95.12 3点 小牛田町教育委員会
- 宮城県教委 : 『一本柳遺跡Ⅰ』（宮城県文化財調査報告書178） : 1998年
 - 吉野武 : 『宮城・一本柳遺跡』（『木簡研究』27） : 2005年
- 一本柳遺跡（2次）**〔いっぽんやなぎ〕【I17】 遠田郡美里町（旧、遠田郡小牛田町）
 中世近世集落 96.4 - 96.12 2点 宮城県教育委員会
- 宮城県教委 : 『一本柳遺跡Ⅰ』（宮城県文化財調査報告書178） : 1998年
 - 吉野武 : 『宮城・一本柳遺跡』（『木簡研究』27） : 2005年

秋田県

- 秋田城跡（25次）**〔あきたじょう〕【I18】 秋田市
 古代官衙 78.8 - 78.12 11点 秋田城跡発掘調査事務所
- 秋田城跡事務所 : 『昭和53年度 秋田城跡発掘調査概報』 : 1979年
 - 小松正夫 : 『秋田・秋田城跡』（『木簡研究』1） : 1979年
 - 平川南 : 『東北地方出土の木簡について』（『木簡研究』1） : 1979年
 - 秋田城跡調査事務所 : 『秋田城出土文字資料集Ⅱ』（秋田城跡調査事務所研究紀要2） : 1992年
 - 沖森卓也・佐藤信編 : 『上代木簡資料集成』おうふう : 1994年
 - 秋田市教委・秋田城跡調査事務所 : 『秋田城跡—政庁跡』 : 2002年
 - 小松正夫 : 『秋田・秋田城跡（第一・八・一二号）・釈文の訂正と追加』（『木簡研究』29） : 2007年
- 秋田城跡（39次）**〔あきたじょう〕【I18】 秋田市
 古代官衙 84.4 - 84.7 6点 秋田城跡発掘調査事務所
- 秋田城跡事務所 : 『昭和59年度 秋田城跡発掘調査概報』 : 1985年
 - 日野久 : 『秋田・秋田城跡』（『木簡研究』8） : 1986年
 - 木簡学会編 : 『日本古代木簡選』岩波書店 : 1990年
 - 秋田城跡調査事務所 : 『秋田城出土文字資料集Ⅱ』（秋田城跡調査事務所研究紀要2） : 1992年
 - 小松正夫 : 『秋田・秋田城跡（第一・八・一二号）・釈文の訂正と追加』（『木簡研究』29） : 2007年
- 秋田城跡（54次）**〔あきたじょう〕【I18】 秋田市
 古代官衙 89.4 - 89.12 296点 秋田城跡調査事務所
- 秋田城跡調査事務所 : 『秋田城跡—平成元年度 秋田城跡発掘調査概報』 : 1990年
 - 日野久 : 『秋田・秋田城跡』（『木簡研究』12） : 1990年
 - 秋田城跡調査事務所 : 『秋田城跡—平成2年度 秋田城跡発掘調査概報』 : 1991年
 - 秋田城跡調査事務所 : 『秋田城跡—平成3年度 秋田城跡発掘調査概報』 : 1992年
 - 秋田城跡調査事務所 : 『秋田城出土文字資料集Ⅱ』（秋田城跡調査事務所研究紀要2） : 1992年
 - 沖森卓也・佐藤信編 : 『上代木簡資料集成』おうふう : 1994年
 - 秋田市教委・秋田城跡調査事務所 : 『秋田城跡—政庁跡』 : 2002年
 - 木簡学会編 : 『日本古代木簡集成』東京大学出版会 : 2003年
 - 小松正夫 : 『秋田・秋田城跡（第一・八・一二号）・釈文の訂正と追加』（『木簡研究』29） : 2007年

- 藩校明德館跡（01年度調査）**〔はんこうめいとくかん〕【I18訂】 秋田市
近世武家屋敷 01.6 - 01.11 4点 秋田市教育委員会
- 秋田市教委 : 『藩校明德館跡—市街地再開発事業に伴う発掘調査報告書』 2002年
 - 伊藤武士 : 「秋田・藩校明德館跡」(『木簡研究』25) 2003年
- 藩校明德館跡（03年度調査）**〔はんこうめいとくかん〕 秋田市
近世武家屋敷 03.7 - 03.8 1点 秋田県埋蔵文化財センター
- 秋田県埋文センター・ : 『久保田城跡・藩校明德館跡—秋田中央道路建設事業に係る埋蔵文化財発掘調 2006年
 - 秋田県教委 : 査報告書』(秋田県文化財調査報告書412) 査報告書
 - 高橋学 : 「秋田・藩校明德館跡」(『木簡研究』30) 2008年
- 久保田城跡（千秋明德地区学校建設工事予定地）**〔くぼたじょう〕 秋田市
近世城郭 02.11 2点 秋田市教育委員会
- 秋田市教委 : 『市内遺跡確認調査報告書』 2003年
 - 西谷隆 : 「秋田・久保田城跡」(『木簡研究』30) 2008年
- 久保田城跡（中土橋地区）**〔くぼたじょう〕 秋田市
近世城郭 03.5 - 03.7 5点 秋田県埋蔵文化財センター
- 秋田県埋文センター・ : 『久保田城跡・藩校明德館跡—秋田中央道路建設事業に係る埋蔵文化財発掘調 2006年
 - 秋田県教委 : 査報告書』(秋田県文化財調査報告書412) 査報告書
 - 高橋学 : 「秋田・久保田城跡（中土橋地区）」(『木簡研究』30) 2008年
- 東根小屋町遺跡**〔ひがしねごやまち〕 秋田市
近世武家屋敷 02.11 - 02.12、03.3 - 03.4 7点 秋田県埋蔵文化財センター
- 秋田県埋文センター・ : 『東根小屋町遺跡—秋田県教育・福祉複合施設整備事業に係る埋蔵文化財発掘 2005年
 - 秋田県教委 : 調査報告書』(秋田県文化財調査報告書387) 調査報告書
 - 高橋学・五十嵐一治 : 「秋田・東根小屋遺跡」(『木簡研究』27) 2005年
- 古川堀反町遺跡**〔ふるかわほりばたまち〕 秋田市
近世城下町 05.3 - 05.7 17点 秋田県埋蔵文化財センター
- 秋田県埋文センター・ : 『古川堀反町遺跡—秋田中央警察署改築事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書』 2008年
 - 秋田県教委 : (秋田県文化財調査報告書435) 査報告書
 - 山村剛・菊池晋 : 「秋田・古川堀反町遺跡」(『木簡研究』30) 2008年
- 湊城跡**〔みなとじょう〕 秋田市
近世城館 06.7 - 06.11 1点 秋田市教育委員会
- 秋田市教委 : 『湊城跡—秋田市都市計画道路事業〔土崎駅前線〕に伴う発掘調査報告書〔平 2008年
 - 成18年度調査区』] 査報告書
 - 西谷隆 : 「秋田・湊城跡」(『木簡研究』30) 2008年
- 小谷地遺跡（1次）**〔こやち〕【I19】 男鹿市
中世集落 64.9 - 64.10 2点 秋田県教育委員会
- 秋田県教委 : 『脇本埋没家屋 第1次調査概報』(秋田県文化財調査報告書5) 1965年
 - 奈良修介・豊島昂 : 『秋田県の考古学』吉川弘文館 1967年
 - 高橋学・五十嵐祐介・ : 「男鹿市小谷地遺跡出土の木簡」(『秋田県埋蔵文化財センター研究紀要』23) 2009年
 - 山本崇
 - 高橋学・五十嵐祐介・ : 「秋田・小谷地遺跡」(『木簡研究』34) 2012年
 - 山本崇
- 小谷地遺跡（3次）**〔こやち〕 男鹿市
中世集落 66.8 2点 秋田県教育委員会
- 秋田県教委 : 『脇本埋没家屋 第3次調査概報』(秋田県文化財調査報告書11) 1967年
 - 高橋学・五十嵐祐介・ : 「男鹿市小谷地遺跡出土の木簡」(『秋田県埋蔵文化財センター研究紀要』23) 2009年
 - 山本崇
 - 高橋学・五十嵐祐介・ : 「秋田・小谷地遺跡」(『木簡研究』34) 2012年
 - 山本崇
- 小谷地遺跡（09年度調査）**〔こやち〕 男鹿市
中世生産遺跡 09.6 - 09.11 1点 秋田県埋蔵文化財センター
- 秋田県埋文センター : 『小谷地遺跡—地方道路交付金事業主要地方道男鹿琴丘線建設事業に係る埋蔵 2011年

○村上義直	文化財発掘調査報告書』(秋田県文化財調査報告書472) 「秋田・小谷地遺跡」(『木簡研究』34)	2012年
脇本城跡 〔わきもとじょう〕 男鹿市		
中世城館 04.7 - 04.10 25点 男鹿市教育委員会		
○男鹿市教委	『国指定史跡 脇本城跡一船川湊重要港湾道路改修工事に係る埋蔵文化財発掘調査報告書』(男鹿市文化財調査報告29)	2005年
○竹内弘和	「秋田・脇本城跡」(『木簡研究』27)	2005年
○竹内弘和	「秋田・脇本城跡(第二七号)・釈文の訂正と追加」(『木簡研究』28)	2006年
○男鹿市教委	『国指定史跡 脇本城跡総括報告書』(男鹿市文化財調査報告40)	2013年
本荘城跡(6次) 〔ほんじょうじょう〕 由利本荘市(旧、本荘市)		
中世城館 04.5 - 04.7 1点 本荘市教育委員会		
○由利本荘市教委	『本荘城跡 本丸の発掘調査』(由利本荘市文化財調査報告書8)	2008年
○長谷川潤一	「秋田・本荘城跡」(『木簡研究』32)	2010年
新谷地遺跡 〔しんやち〕 由利本荘市(旧、本荘市)		
中世集落 01.6 - 01.7 3点 本荘市教育委員会		
○本荘市教委	『上谷地遺跡 新谷地遺跡』	2003年
○長谷川潤一	「秋田・新谷地遺跡」(『木簡研究』26)	2004年
龍門寺茶畑遺跡 〔りゅうもんじちやばたけ〕 由利本荘市(旧、本荘市)		
近世墓地 02.7 - 02.10 2点 秋田県埋蔵文化財センター		
○秋田県教委	『龍門寺茶畑遺跡・向山遺跡一主要地方道本荘岩城線ふるさとづくり推進事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書』(秋田県文化財調査報告書373)	2004年
○高橋学	「秋田・龍門寺茶畑遺跡」(『木簡研究』26)	2004年
横山遺跡 〔よこやま〕 由利本荘市(旧、本荘市)		
近世集落 01.5 - 01.11 1点 秋田県埋蔵文化財センター		
○秋田県教委	『横山遺跡一内陸地区担い手育成基盤整備事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書』(秋田県文化財調査報告書363)	2003年
○高橋学	「秋田・横山遺跡」(『木簡研究』28)	2006年
岩倉館跡 〔いわくらだて〕 由利本荘市(旧、本荘市)		
中世城館 04.5 - 04.10 1点 秋田県埋蔵文化財センター		
○秋田県教委	『岩倉館跡一日本海沿岸東北自動車道建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書』(秋田県文化財調査報告書423)	2007年
○藤田賢哉	「秋田・岩倉館跡」(『木簡研究』30)	2008年
助の淵遺跡 〔すけのふち〕 由利本荘市		
中世集落 07.5 - 07.8 1点 由利本荘市教育委員会		
○由利本荘市教委	『大川原II遺跡・助の淵遺跡』(由利本荘市文化財調査報告書10)	2009年
○三原裕姫子	「秋田・助の淵遺跡」(『木簡研究』33)	2011年
弘田柵跡 〔ほったのさく〕 仙北郡美郷町(旧、仙北郡千屋村)		
古代官衙 1902年 1点 耕作中		
○秋田県教委弘田柵跡調査事務所・秋田県教委	『弘田柵跡III一長森地区(本編)』(秋田県文化財調査報告書448)	2009年
○高橋学	「一九〇二年に出土した文字資料一秋田県弘田柵跡の柵木」(『木簡研究』31)	2009年
弘田柵跡 〔ほったのさく〕【I 19】 大仙市・仙北郡美郷町(旧、仙北郡仙北町・千畑町)		
古代官衙 1930年9月 2点 藤井東一・上田三平氏による表面採集		
○平川南	「東北地方出土の木簡一弘田柵跡・胆沢城跡一」(奈文研『第3回木簡研究集会記録』)	1979年
○榮原永遠男	「秋田・弘田柵跡」(『木簡研究』1)	1979年
○平川南	「東北地方出土の木簡について」(『木簡研究』1)	1979年
○秋田県教委弘田柵跡調査事務所・秋田県教委	『弘田柵跡 第49-2~3・53・54次発掘調査概要一弘田柵跡調査事務所年報1983』(秋田県文化財調査報告書113)	1984年
○秋田県教委弘田柵跡調査事務所・秋田県教委	『弘田柵跡I一政庁跡』(秋田県文化財調査報告書122)	1985年

- 秋田県教委弘田柵跡調
査事務所・秋田県教委
- 木簡学会編
- 新野直吉・船木義勝
- 高橋学

『弘田柵跡 第60～64次発掘調査概要—弘田柵跡調査事務所年報1985』(秋田県文化財調査報告書139) 1985年
『日本古代木簡選』岩波書店 1990年
『弘田柵の研究』文献出版 1990年
「秋田・弘田柵跡」(『木簡研究』26) 2004年

弘田柵跡(7次)〔ほったのさく〕【I20】 大仙市・仙北郡美郷町(旧、仙北郡仙北町・千畑町)

古代官衙 75.10 - 75.12 5点 秋田県教育委員会弘田柵跡調査事務所

- 秋田県教委弘田柵跡調
査事務所・秋田県教委
- 奈文研
- 平川南
- 秋田県教委弘田柵跡調
査事務所・秋田県教委
- 新野直吉・船木義勝
- 高橋学

『弘田柵跡 昭和50年度発掘調査概要—弘田柵跡調査事務所年報1975』(秋田県文化財調査報告書40) 1976年
『第1回木簡研究集会記録』(各遺跡出土の木簡(追加)の項) 1976年
「東北地方出土の木簡—弘田柵跡・胆沢城跡—」(奈文研『第3回木簡研究集会記録』) 1979年
『弘田柵跡Ⅰ—政庁跡』(秋田県文化財調査報告書122) 1985年
『弘田柵の研究』文献出版 1990年
「秋田・弘田柵跡」(『木簡研究』26) 2004年

弘田柵跡(9次)〔ほったのさく〕 大仙市・仙北郡美郷町(旧、仙北郡仙北町・千畑町)

古代官衙 76.5 - 76.10 1点 秋田県教育委員会弘田柵跡調査事務所

- 秋田県教委弘田柵跡調
査事務所・秋田県教委
- 秋田県教委弘田柵跡調
査事務所・秋田県教委
- 高橋学

『弘田柵跡 第9・10次発掘調査概要—弘田柵跡調査事務所年報1976』(秋田県文化財調査報告書44) 1977年
『弘田柵跡Ⅰ—政庁跡』(秋田県文化財調査報告書122) 1985年
「秋田・弘田柵跡」(『木簡研究』26) 2004年

弘田柵跡(10次)〔ほったのさく〕【I20】 大仙市・仙北郡美郷町(旧、仙北郡仙北町・千畑町)

古代官衙 76.10 - 76.12 6点 秋田県教育委員会弘田柵跡調査事務所

- 秋田県教委弘田柵跡調
査事務所・秋田県教委
- 平川南
- 秋田県教委弘田柵跡調
査事務所・秋田県教委
- 新野直吉・船木義勝
- 高橋学
- 高橋学

『弘田柵跡 第9・10次発掘調査概要—弘田柵跡調査事務所年報1976』(秋田県文化財調査報告書44) 1977年
「東北地方出土の木簡—弘田柵跡・胆沢城跡—」(奈文研『第3回木簡研究集会記録』) 1979年
『弘田柵跡Ⅰ—政庁跡』(秋田県文化財調査報告書122) 1985年
『弘田柵の研究』文献出版 1990年
「秋田・弘田柵跡」(『木簡研究』26) 2004年
「秋田・弘田柵跡(第二六号)・釈文の訂正と追加」(『木簡研究』31) 2009年

弘田柵跡(ホイド清水)〔ほったのさく〕【I20】 大仙市・仙北郡美郷町(旧、仙北郡仙北町・千畑町)

古代官衙 80.12 1点 富樫泰時氏による表面採集

- 秋田県教委弘田柵跡調
査事務所・秋田県教委
- 秋田県教委弘田柵跡調
査事務所・秋田県教委
- 秋田県教委弘田柵跡調
査事務所・秋田県教委
- 新野直吉・船木義勝
- 高橋学

『弘田柵跡 第49・2～3・53・54次発掘調査概要—弘田柵跡調査事務所年報1983』(秋田県文化財調査報告書113) 1984年
『弘田柵跡Ⅰ—政庁跡』(秋田県文化財調査報告書122) 1985年
『弘田柵跡 第60～64次発掘調査概要—弘田柵跡調査事務所年報1985』(秋田県文化財調査報告書139) 1985年
『弘田柵の研究』文献出版 1990年
「秋田・弘田柵跡」(『木簡研究』28) 2006年

弘田柵跡(49次)〔ほったのさく〕 大仙市・仙北郡美郷町(旧、仙北郡仙北町・千畑町)

古代官衙 82.10 - 82.12 1点 秋田県教育委員会弘田柵跡調査事務所

- 秋田県教委弘田柵跡調
査事務所・秋田県教委
- 船木義勝
- 秋田県教委弘田柵跡調
査事務所・秋田県教委
- 秋田県教委弘田柵跡調
査事務所・秋田県教委
- 秋田県教育庁弘田柵跡
調査事務所・秋田県教委

『弘田柵跡 第46～52次発掘調査概要—弘田柵跡調査事務所年報1982』(秋田県文化財調査報告書104) 1983年
「秋田・弘田柵跡」(『木簡研究』5) 1983年
『弘田柵跡Ⅰ—政庁跡』(秋田県文化財調査報告書122) 1985年
『弘田柵跡 第60～64次発掘調査概要—弘田柵跡調査事務所年報1985』(秋田県文化財調査報告書139) 1985年
『弘田柵跡Ⅲ—長森地区—』(秋田県文化財調査報告書448) 2009年

払田柵跡 (49 - 2、49 - 3次)〔ほったのさく〕【I 20】 大仙市・仙北郡美郷町(旧、仙北郡仙北町・千畑町)
 古代官衙 83.4 - 83.5、83.10 - 83.11 8点 秋田県教育委員会払田柵跡調査事務所

○秋田県教委払田柵跡調査事務所・秋田県教委	『払田柵跡 第49-2~3・53・54次発掘調査概要—払田柵跡調査事務所年報1983』(秋田県文化財調査報告書113)	1984年
○秋田県教委払田柵跡調査事務所・秋田県教委	『払田柵跡Ⅰ—政庁跡』(秋田県文化財調査報告書122)	1985年
○秋田県教委払田柵跡調査事務所・秋田県教委	『払田柵跡 第60~64次発掘調査概要—払田柵跡調査事務所年報1985』(秋田県文化財調査報告書139)	1985年
○新野直吉・船木義勝	『払田柵の研究』文献出版	1990年
○高橋学	「秋田・払田柵跡」(『木簡研究』28)	2006年
○秋田県教育庁払田柵跡調査事務所・秋田県教委	『払田柵跡Ⅲ—長森地区—』(秋田県文化財調査報告書448)	2009年

払田柵跡 (55次)〔ほったのさく〕【I 21追】 大仙市・仙北郡美郷町(旧、仙北郡仙北町・千畑町)
 古代官衙 84.4 - 84.8 5点 秋田県教育委員会払田柵跡調査事務所

○秋田県教委払田柵跡調査事務所・秋田県教委	『払田柵跡 第55~59次調査概要—払田柵跡調査事務所年報1984』(秋田県文化財調査報告書121)	1985年
○秋田県教委払田柵跡調査事務所・秋田県教委	『払田柵跡Ⅰ—政庁跡』(秋田県文化財調査報告書122)	1985年
○秋田県教委払田柵跡調査事務所・秋田県教委	『払田柵跡 第60~64次発掘調査概要—払田柵跡調査事務所年報1985』(秋田県文化財調査報告書139)	1985年
○船木義勝	「秋田・払田柵跡」(『木簡研究』7)	1985年
○新野直吉・船木義勝	『払田柵の研究』文献出版	1990年
○秋田県教育庁払田柵跡調査事務所・秋田県教委	『払田柵跡Ⅱ—一区画施設—』(秋田県文化財調査報告書289)	1999年

払田柵跡 (65次)〔ほったのさく〕【I 21追】 大仙市・仙北郡美郷町(旧、仙北郡仙北町・千畑町)
 古代官衙 86.4 - 86.9 4点 秋田県教育庁払田柵跡調査事務所

○秋田県教育庁払田柵跡調査事務所・秋田県教委	『払田柵跡 第65~67次発掘調査概要—払田柵跡調査事務所年報1986』(秋田県文化財調査報告書154)	1987年
○船木義勝	「秋田・払田柵跡」(『木簡研究』9)	1987年
○新野直吉・船木義勝	『払田柵の研究』文献出版	1990年
○秋田県教育庁払田柵跡調査事務所・秋田県教委	『払田柵跡Ⅱ—一区画施設—』(秋田県文化財調査報告書289)	1999年

払田柵跡 (107次)〔ほったのさく〕【I 21訂】 大仙市・仙北郡美郷町(旧、仙北郡仙北町・千畑町)
 古代官衙 96.4 - 96.10 49点 秋田県教育庁払田柵跡調査事務所

○秋田県教育庁払田柵跡調査事務所・秋田県教委	『払田柵跡 第107次~109次調査概要—払田柵跡調査事務所年報1996』(秋田県文化財調査報告書269)	1997年
○児玉準	「秋田・払田柵跡」(『木簡研究』19)	1997年
○秋田県教育庁払田柵跡調査事務所・秋田県教委	『払田柵跡Ⅱ—一区画施設—』(秋田県文化財調査報告書289)	1999年
○木簡学会編	『日本古代木簡集成』東京大学出版会	2003年

払田柵跡 (112次)〔ほったのさく〕【I 21訂】 大仙市・仙北郡美郷町(旧、仙北郡仙北町・千畑町)
 古代官衙 97.6 - 97.10 7点 秋田県教育庁払田柵跡調査事務所

○秋田県教育庁払田柵跡調査事務所・秋田県教委	『払田柵跡 第110次~第112次調査概要—払田柵跡調査事務所年報1997』(秋田県文化財調査報告書280)	1998年
○児玉準	「秋田・払田柵跡」(『木簡研究』20)	1998年
○秋田県教育庁払田柵跡調査事務所・秋田県教委	『払田柵跡Ⅱ—一区画施設—』(秋田県文化財調査報告書289)	1999年

払田柵跡 (08年次数外)〔ほったのさく〕 大仙市
 古代官衙 08.5 1点 耕作中表面採集

○秋田県教育庁払田柵跡調査事務所・秋田県教委	『払田柵跡 第137次・第138次調査概要—払田柵跡調査事務所年報2008』(秋田県文化財調査報告書447)	2009年
○高橋学	「秋田・払田柵跡」(『木簡研究』31)	2009年

払田柵跡 (142次)〔ほったのさく〕 大仙市・仙北郡美郷町
 古代官衙 11.6 - 11.8 2点 秋田県教育庁払田柵跡調査事務所

○ 秋田県教育庁弘田柵跡	『弘田柵跡 第142次・第143次調査 関連遺跡の調査概要—弘田柵跡調査事務所』	2012年
○ 調査事務所・秋田県教委	『年報2011』（秋田県文化財調査報告書476）	
○ 五十嵐一治	『秋田・弘田柵跡』（『木簡研究』34）	2012年
怒遺跡 〔いかり〕【I19】※	大仙市	
○ 古代官衙カ	1914 - 15年 2点 高階六郎左衛門氏による表面採集	
○ 高橋健治	『藤木墨書上器出土状況報告書1〜8』（『秋田民報』1974年7月27日〜8月20日）	1974年
○ 新野直吉・船木義勝	『弘田柵の研究』文献出版	1990年
○ 秋田県教委	『秋田県重要遺跡調査報告書I—弘田柵跡第139次調査・怒遺跡出土遺物』（秋田県文化財調査報告書458）	2010年
観音堂遺跡 〔かんのんどう〕	大仙市（旧、仙北郡仙北町）	
○ 近世集落	03.7 1点 仙北町教育委員会	
○ 山崎文幸	『秋田・観音堂遺跡』（『木簡研究』26年）	2004年
新山遺跡（試掘調査） 〔しんざん〕	大仙市	
○ 古代集落	08.10 - 08.11 1点 大仙市教育委員会	
○ 山崎文幸	『秋田・新山遺跡』（『木簡研究』31）	2009年
○ 大仙市教委	『新山遺跡—農地集積加速化基盤整備事業神岡西部地区に係る埋蔵文化財発掘調査報告書』（大仙市文化財調査報告書10）	2010年
半在家遺跡 〔はんざいけ〕	大仙市	
○ 古代水田・祭祀	08.4 - 08.8 1点 大仙市教育委員会	
○ 山崎文幸	『秋田・半在家遺跡』（『木簡研究』31）	2009年
沖田Ⅰ遺跡 〔おきた〕	大仙市	
○ 近世集落	10.4 - 10.8 1点 大仙市教育委員会	
○ 大仙市教委	『沖田Ⅰ遺跡・沖田Ⅱ遺跡—農地集積加速化基盤整備事業神岡西部地区に係る埋蔵文化財発掘調査報告書』（大仙市文化財調査報告書13）	2011年
○ 齊藤浩志	『秋田・沖田Ⅰ遺跡』（『木簡研究』34）	2012年
家ノ浦遺跡 〔いえのうら〕	にかほ市	
○ 古代集落	10.6 - 10.8 1点 秋田県埋蔵文化財センター	
○ 秋田県埋文センター	『秋田県埋蔵文化財センター年報29 平成22年度』	2011年
○ 秋田県埋文センター・秋田県教委	『家ノ浦遺跡—一般国道7号仁賀保本荘道路建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書V』（秋田県文化財調査報告書473）	2012年
○ 築瀬圭二	『秋田・家ノ浦遺跡』（『木簡研究』34）	2012年
家ノ浦Ⅱ遺跡 〔いえのうら〕※	にかほ市	
○ 古代祭祀生産	11.6 - 11.9 1点 秋田県埋蔵文化財センター	
○ 秋田県埋文センター・秋田県教委	『家ノ浦Ⅱ遺跡—一般国道7号仁賀保本荘道路建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅶ』（秋田県文化財調査報告書485）	2013年
胡桃館遺跡（1次） 〔くるみだて〕【I19】	北秋田市（旧、北秋田郡鷹巣町）	
○ 古代集落・寺院	67.7 - 67.8 1点 秋田県教育委員会・鷹巣町教育委員会	
○ 秋田県教委	『胡桃館埋没建物発掘調査概報』（秋田県文化財調査報告書14）	1968年
○ 秋田県教委	『胡桃館埋没建物 第3次発掘調査報告書』（秋田県文化財調査報告書22）	1970年
○ 鷹巣町	『広報たかのす 平成17年弥生 2005/3/1』	2005年
○ 山本崇・高橋学	『鷹巣町所在胡桃館遺跡出土の木簡』（『秋田県埋蔵文化財センター研究紀要』19）	2005年
○ 山本崇・高橋学	『胡桃館遺跡出土木簡の再釈読について』（『秋田県埋蔵文化財センター研究紀要』20）	2006年
○ 高橋学・榎本剛治・山本崇・吉川真司	『秋田・胡桃館遺跡』（『木簡研究』28）	2006年
○ 奈文研・北秋田市教委	『胡桃館遺跡埋没建物部材調査報告書』（北秋田市文化財調査報告書10）	2008年
胡桃館遺跡（2次） 〔くるみだて〕【I19】	北秋田市（旧、北秋田郡鷹巣町）	
○ 古代集落・寺院	68.8 2点 秋田県教育委員会・鷹巣町教育委員会	
○ 秋田県教委	『胡桃館埋没建物 第2次発掘調査概報—秋田県鷹巣町所在』（秋田県文化財調査報告書19）	1969年

北海道・東北

- 秋田県立博物館 : 『秋田県立博物館ニュース』 97 : 1994年
- 鷹巣町 : 『広報たかのす 平成17年弥生 2005/3/1』 : 2005年
- 山本崇・高橋学 : 『鷹巣町所在胡桃館遺跡出土の木簡』（『秋田県埋蔵文化財センター研究紀要』 19） : 2005年
- 山本崇・高橋学 : 『胡桃館遺跡出土木簡の再訳読について』（『秋田県埋蔵文化財センター研究紀要』 20） : 2006年
- 高橋学・榎本剛治・山本崇・吉川真司 : 『秋田・胡桃館遺跡』（『木簡研究』 28） : 2006年
- 奈文研・北秋田市教委 : 『胡桃館遺跡埋没建物部材調査報告書』（北秋田市文化財調査報告書10） : 2008年

厨川谷地遺跡〔くりやがわやち〕【I22】 仙北郡美郷町（旧、仙北郡千畑町）

時期不詳祭祀・水田 01.5 - 01.11 8点 秋田県埋蔵文化財センター

- 秋田県埋文センター : 『厨川谷地遺跡— 県営ほ場整備事業（土谷・小荒川地区）に係る埋蔵文化財発掘調査報告書1』（秋田県文化財調査報告書383） : 2005年
- 五十嵐一治 : 『秋田・厨川谷地遺跡』（『木簡研究』 27） : 2005年

本堂城跡（1次）〔ほんどうじょう〕 仙北郡美郷町

中世城館 04.10 - 04.11 4点 美郷町教育委員会

- 山形博康 : 『秋田・本堂城跡』（『木簡研究』 28） : 2006年
- 美郷町教委 : 『県指定史跡 本堂城跡—本堂城跡整備第1次3か年計画に基づく調査報告』（美郷町埋蔵文化財調査報告書5） : 2007年

本堂城跡（外堀跡・外館跡確認調査）〔ほんどうじょう〕 仙北郡美郷町

中世城館 07.11 - 07.12 1点 美郷町教育委員会

- 美郷町教委 : 『本堂城跡—本堂城跡整備第2次3か年計画に基づく調査報告Ⅱ』（美郷町埋蔵文化財調査報告書11） : 2011年
- 山形博康 : 『秋田・本堂城跡』（『木簡研究』 34） : 2012年

本堂城跡（本堂城回地区）〔ほんどうじょう〕 仙北郡美郷町

中世城館 08.5 - 08.7 15点 美郷町教育委員会

- 山形博康 : 『秋田・本堂城跡』（『木簡研究』 31） : 2009年
- 美郷町教委 : 『本堂城跡 飛沢尻遺跡—県営農地集積加速化基盤整備事業（本堂城回地区）に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』（美郷町埋蔵文化財調査報告書8） : 2010年

根子荒田 I 遺跡〔ねこあらた〕 仙北郡美郷町

時期不詳遺物包含層 06.5 - 06.7 1点 美郷町教育委員会

- 美郷町教委 : 『根子荒田 I 遺跡』（美郷町埋蔵文化財調査報告書4） : 2007年
- 高橋和大 : 『秋田・根子荒田 I 遺跡』（『木簡研究』 29） : 2007年

谷地中遺跡〔やちなか〕※ 仙北郡美郷町

古代遺物散布地 10.7 - 10.8 7点 美郷町教育委員会

- 美郷町教委 : 『湯殿屋敷遺跡 谷地中遺跡—県営農地集積加速化基盤整備事業（羽貫谷地地区）に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』（美郷町埋蔵文化財調査報告書14） : 2013年

山形県

服部遺跡・藤治屋敷遺跡（2次）〔はっとり・とうじやしき〕 山形市

中世集落 99.5 - 99.11 5点（財）山形県埋蔵文化財センター

- 山形県埋文センター : 『服部遺跡・藤治屋敷遺跡 第2次発掘調査報告書』（山形県埋蔵文化財センター調査報告書119） : 2004年
- 高桑弘美 : 『山形・服部遺跡』（『木簡研究』 30） : 2008年

山形城跡（2次）〔やまがたじょう〕 山形市

近世城郭 03.5 - 03.11 1点 山形市教育委員会

- 五十嵐貴久 : 『山形・山形城跡』（『木簡研究』 26） : 2004年

○山形市教委	『山形市埋蔵文化財調査年報一平成15年度』	2005年
山形城跡（04年度調査） 〔やまがたじょう〕 山形市		
近世城郭 04.7 - 04.11 1点	山形市教育委員会	
○五十嵐貴久	『山形・史跡山形城跡』（『木簡研究』29）	2007年
山形城跡（08年度調査） 〔やまがたじょう〕 山形市		
近世城郭 08.5 - 09.3 1点	山形市教育委員会	
○齋藤仁	『山形・史跡山形城跡』（『木簡研究』31）	2009年
山形城三の丸跡（5次） 〔やまがたじょう〕 山形市		
近世城郭 08.6 - 08.11 8点	（財）山形県埋蔵文化財センター	
○山形県埋文センター	『山形城三の丸跡 第5・7・8次発掘調査報告書』（山形県埋蔵文化財センター調査報告書202）	2012年
○草野潤平	『山形・山形城三の丸跡』（『木簡研究』34）	2012年
山形城三の丸跡（10次） 〔やまがたじょう〕 山形市		
近世城郭 12.5 - 12.7 17点	（公財）山形県埋蔵文化財センター	
○山形県埋文センター	『山形城三の丸跡 第10次発掘調査報告書』（山形県埋蔵文化財センター調査報告書206）	2013年
○天本昌希	『山形・山形城三の丸跡』（『木簡研究』35）	2013年
石田遺跡（3次） 〔いしだ〕【I23】 山形市		
古代集落 00.4 - 00.8 2点	（財）山形県埋蔵文化財センター	
○吉田江美子・山口博之	『山形・石田遺跡』（『木簡研究』23）	2001年
○山形県埋文センター	『石田遺跡発掘調査報告書』（山形県埋蔵文化財センター調査報告書122）	2004年
渋江遺跡（4次） 〔しぶえ〕【I23】 山形市		
近世近代墓地 01.4 - 01.9 6点	（財）山形県埋蔵文化財センター	
○山形県埋文センター	『渋江遺跡 第4次発掘調査報告書』（山形県埋蔵文化財センター調査報告書106）	2002年
○押切智紀	『山形・渋江遺跡』（『木簡研究』27）	2005年
梅野木前1遺跡 〔うめのきまえ〕 山形市		
古代集落 06.10 - 06.12 1点	山形市教育委員会	
○山形市教委・（株）しまむら	『梅野木前1遺跡発掘調査報告書—FM山形嶋店新築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査』（山形県山形市埋蔵文化財発掘調査報告書28）	2007年
○須藤英之	『山形・梅野木前1遺跡』（『木簡研究』30）	2008年
古志田東遺跡（99年度調査） 〔ふるしだひがし〕【I23】 米沢市		
古代居館 99.11 - 99.12 61点	米沢市教育委員会	
○米沢市教委	『古志田東遺跡—林泉寺住宅団地造成予定地内埋蔵文化財調査報告書』（米沢市埋蔵文化財調査報告書73）	2001年
○手塚孝・月山隆弘	『山形・古志田東遺跡』（『木簡研究』26）	2004年
堤屋敷遺跡（2次） 〔つつみやしき〕 米沢市		
近世集落 07.5 - 07.11 1点	（財）山形県埋蔵文化財センター	
○山形県埋文センター	『堤屋敷遺跡第2次・下屋敷遺跡発掘調査報告書』（山形県埋蔵文化財センター調査報告203）	2012年
○菅原哲文	『山形・堤屋敷遺跡』（『木簡研究』34）	2012年
後田遺跡（1次）（旧、月記遺跡） 〔うしろだ〕【I23訂】 鶴岡市		
中世近世流路 89.9 3点	山形県教育委員会	
○山形県教委	『大道下・月記・大車遺跡発掘調査報告書』（山形県埋蔵文化財調査報告書153）	1990年
○野尻侃	『山形・後田（旧月記）遺跡』（『木簡研究』21）	1999年
鶴ヶ岡城跡（1次） 〔つるがおかじょう〕【I24】 鶴岡市		
近世集落 99.7 - 99.12 6点	（財）山形県埋蔵文化財センター	
○山形県埋文センター	『鶴ヶ岡城跡発掘調査報告』（山形県埋蔵文化財センター調査報告書99）	2002年

- 菅原哲文 : 「山形・鶴ヶ岡城跡」(『木簡研究』27) : 2005年
- 鶴ヶ岡城跡(2次)** [つるがおかじょう] 【I24】 鶴岡市
近世集落 00.4 - 00.11 2点 (財)山形県埋蔵文化財センター
- 山形県埋文センター : 『鶴ヶ岡城跡発掘調査報告』(山形県埋蔵文化財センター調査報告書99) : 2002年
○菅原哲文 : 「山形・鶴ヶ岡城跡」(『木簡研究』27) : 2005年
- 鶴ヶ岡城跡(二の丸南辺地点)(99年度調査)** [つるがおかじょう] 【I24】 鶴岡市
近世集落・城館 99.8 - 99.11 3点 鶴岡市教育委員会
- 鶴岡市教委 : 『鶴ヶ岡城跡発掘調査報告書 二の丸南辺地点』(山形県鶴岡市埋蔵文化財調査報告書14) : 2001年
○松田亜紀子 : 「山形・鶴ヶ岡城跡(二の丸南辺地点)」(『木簡研究』28) : 2006年
- 興屋川原遺跡(2次)** [こうやがわら] 鶴岡市
古代集落 05.6 - 05.12 5点 (財)山形県埋蔵文化財センター
- 山形県埋文センター : 『興屋川原遺跡 第1~4次発掘調査報告書(本文編)(写真図版編)』(山形県埋蔵文化財センター調査報告書187) : 2010年
○齋藤健 : 「山形・興屋川原遺跡」(『木簡研究』32) : 2010年
- 手蔵田10遺跡** [てぐらだ] 【I25】 酒田市
中世集落 87.4 - 87.9 8点 山形県教育委員会
- 山形県教委 : 『手蔵田10・11遺跡発掘調査報告書』(山形県埋蔵文化財調査報告書124) : 1988年
○山形県の古代文字資料を
考える会 : 『山形県内出土古代文字資料集成』 : 1998年
○名和達朗 : 「山形・手蔵田10遺跡」(『木簡研究』27) : 2005年
- 亀ヶ崎城跡(4次)** [かめがさきじょう] 酒田市
近世城館 04.5 - 04.11 32点 (財)山形県埋蔵文化財センター
- 山形県埋文センター : 『亀ヶ崎城跡 第4・5次発掘調査報告書』(山形県埋蔵文化財センター調査報告書180) : 2009年
○高桑登 : 「山形・亀ヶ崎城跡」(『木簡研究』31) : 2009年
- 亀ヶ崎城跡(5次)** [かめがさきじょう] 酒田市
近世城館 05.4 - 05.9 6点 (財)山形県埋蔵文化財センター
- 山形県埋文センター : 『亀ヶ崎城跡 第4・5次発掘調査報告書』(山形県埋蔵文化財センター調査報告書180) : 2009年
○高桑登 : 「山形・亀ヶ崎城跡」(『木簡研究』31) : 2009年
- 小田島城跡** [おだしまじょう] 東根市
中世近世城館 00.4 - 01.12 12点 (財)山形県埋蔵文化財センター
- 山形県埋文センター : 『小田島城跡発掘調査報告書』(山形県埋蔵文化財センター調査報告書131) : 2004年
○高桑登 : 「山形・小田島城跡」(『木簡研究』28) : 2006年
- 天王遺跡(1次)** [てんのう] 南陽市
中世集落 06.5 - 06.11 1点 (財)山形県埋蔵文化財センター
- 山形県埋文センター : 『天王遺跡 第1・2次発掘調査報告書』(山形県埋蔵文化財センター調査報告書186) : 2010年
○高桑登 : 「山形・天王遺跡」(『木簡研究』32) : 2010年
- 大在家遺跡(6次)** [だいざいけ] 東置賜郡高島町
古代集落 99.5 - 99.6 1点 高島町教育委員会
- 井田秀和 : 「山形・大在家遺跡」(『木簡研究』26) : 2004年
- 高島町尻遺跡(3次)** [たかはたまちじり] 東置賜郡高島町
古代河川 03.10 - 03.12 5点 高島町教育委員会
- 井田秀和 : 「山形・高島町尻遺跡」(『木簡研究』28) : 2006年
- 高島町尻遺跡(4次)** [たかはたまちじり] 東置賜郡高島町
古代河川 04.4 - 04.6 6点 高島町教育委員会
- 井田秀和 : 「山形・高島町尻遺跡」(『木簡研究』28) : 2006年

福島県

門田条里制跡（92年度調査） 〔もんでんじょうりせい〕【I27】		会津若松市
古代条里 92.4 - 92.12 1点 会津若松市教育委員会		
○ 会津若松市教委・会津若松建設事務所	『門田条里制跡発掘調査報告書Ⅳ—県道会津若松裏磐梯線緊急地方道路整備発掘調査』（会津若松市文化財調査報告書35）	1994年
○ 石田明夫	「福島・門田条里制跡」（『木簡研究』26）	2004年
東高久遺跡 〔ひがしたかく〕		会津若松市
古代集落 96.4 - 96.9 1点 会津若松市教育委員会		
○ 会津若松市教委	『会津若松市埋蔵文化財分布調査報告書』（会津若松市文化財調査報告書62）	1999年
○ 石田明夫	「福島・東高久遺跡」（『木簡研究』26）	2004年
若松城郭内武家屋敷跡大町口 〔わかまつじょう〕※		会津若松市
近世城郭 98.7 - 98.8 3点 会津若松市教育委員会		
○ 会津若松市教委	『若松城郭内武家屋敷跡 大町口跡』（会津若松市文化財調査報告書131）	2012年
荒井猫田遺跡（15次） 〔あらいねこた〕【I28】		郡山市
中世城館 01.5 - 02.3 4点 郡山市教育委員会・（財）郡山市埋蔵文化財発掘調査事業団		
○ 郡山市埋文発掘調査事業団・郡山市教委	『郡山南拠点土地地区画整理事業関連 荒井猫田遺跡（Ⅱ区）—第15次発掘調査報告』	2003年
○ 高田勝	「福島・荒井猫田遺跡」（『木簡研究』26）	2004年
荒井猫田遺跡（16次） 〔あらいねこた〕		郡山市
中世城館 02.4 - 02.9 5点 郡山市教育委員会・（財）郡山市埋蔵文化財発掘調査事業団		
○ 高田勝	「福島・荒井猫田遺跡」（『木簡研究』26）	2004年
○ 郡山市文化・学び振興公社文化財調査研究センター	『郡山南拠点土地地区画整理事業関連 荒井猫田遺跡（Ⅱ区）—第16次発掘調査報告』	2006年
荒井猫田遺跡（17次） 〔あらいねこた〕		郡山市
中世城館 03.5 - 03.8 21点 郡山市教育委員会・（財）郡山市埋蔵文化財発掘調査事業団		
○ 高田勝	「福島・荒井猫田遺跡」（『木簡研究』26）	2004年
○ 郡山市文化・学び振興公社文化財調査研究センター	『郡山市南拠点土地地区画整理事業関連 荒井猫田遺跡（Ⅱ区）—第17次発掘調査報告』	2006年
荒田目条里制遺構（市道砂畑 - 礼堂線改良工事） 〔あつためじょうりせい〕		いわき市
近世河川 02.11 - 02.12 2点 （財）いわき市教育文化事業団		
○ いわき市教育文化事業団・いわき市教委	『荒田目条里制遺構—市道砂畑 - 礼堂線改良工事に伴う調査』（いわき市埋蔵文化財調査報告102）	2004年
○ 木幡成雄	「福島・荒田目条里制遺構」（『木簡研究』26）	2004年
平城跡 〔たいらじょう〕		いわき市
近世近代城郭 06.2 - 06.3 68点 （財）いわき市教育文化事業団		
○ いわき市教育文化事業団・いわき市教委	『平城跡—旧外堀跡の調査』（いわき市埋蔵文化財調査報告127）	2008年
○ 吉田生哉	「福島・平城跡（田町地区）」（『木簡研究』32）	2010年
高堂太遺跡（4次） 〔たかどうた〕		喜多方市
古代集落 08.5 - 08.12 1点 （財）福島県文化振興事業団		
○ 福島県文化振興事業団	『会津縦貫北道路遺跡発掘調査報告9 高堂太遺跡（下高領館跡を含む）4次』（福島県文化財調査報告書462）	2009年
○ 阿部知己	「福島・高堂太遺跡」（『木簡研究』34）	2012年

- 二本松城跡（14次）**〔にほんまつじょう〕※ 二本松市
 近代上水施設 09.6 - 09.7 1点 二本松市教育委員会
 ○二本松市教委 : 『二本松城址Ⅷ—平成21年度発掘調査報告書』（二本松市文化財調査報告書40） : 2010年
- 二本松城跡（15次）**〔にほんまつじょう〕 二本松市
 近代上水施設 10.6 - 10.7 1点 二本松市教育委員会
 ○二本松市教委 : 『二本松城跡ⅩⅤ—平成22年度発掘調査報告書』（二本松市文化財調査報告書42） : 2011年
 ○佐藤真由美 : 「福島・二本松城跡」（『木簡研究』34） : 2012年
- 泉廃寺跡（10次）**〔いずみはいじ〕【I29】 南相馬市（旧、原町市）
 古代官衙 98.6 - 98.8 1点 原町市教育委員会
 ○原町市教委 : 『原町市内遺跡発掘調査報告書4 平成10年度試掘調査—竹花A遺跡（第3次調査）泉廃寺（第8次調査）泉廃寺（第10次調査）前屋敷遺跡（第3次調査）新橋横穴墓群』（原町市埋蔵文化財調査報告書18） : 1999年
 ○荒淑人 : 「福島・泉廃寺跡」（『木簡研究』25） : 2003年
 ○南相馬市教委文化財課 : 『泉廃寺跡—陸奥国行方郡家の調査報告』（南相馬市埋蔵文化財調査報告書6） : 2007年
- 泉廃寺跡（陸奥国行方郡衙）（16次）**〔いずみはいじ〕【I29】 南相馬市（旧、原町市）
 古代官衙 01.5 - 01.11 1点 原町市教育委員会
 ○原町市教委 : 『原町市内遺跡発掘調査報告書7 平成13年度試掘調査—泉廃寺（第16・17次調査）・丁田条里跡・丸山館跡・北山横穴墓群・北山古墳群・無線塔跡』（原町市埋蔵文化財調査報告書28） : 2002年
 ○荒淑人 : 「福島・泉廃寺跡（陸奥国行方郡衙）」（『木簡研究』24） : 2002年
 ○南相馬市教委文化財課 : 『泉廃寺跡—陸奥国行方郡家の調査報告』（南相馬市埋蔵文化財調査報告書6） : 2007年
- 泉廃寺跡（陸奥国行方郡衙）（21次）**〔いずみはいじ〕 南相馬市（旧、原町市）
 古代官衙 03.10 - 04.3 4点 原町市教育委員会
 ○原町市教委 : 『原町市内遺跡発掘調査報告書9 平成15年度試掘調査—泉廃寺跡第20次・21次調査・泉館跡第1次調査・桜井B遺跡第1次・2次調査・萱浜原畑遺跡・陣ヶ崎A遺跡・三島町遺跡・西町遺跡・五治郎内古墳群』（原町市埋蔵文化財調査報告書34） : 2004年
 ○藤木海 : 「福島・泉廃寺跡（陸奥国行方郡衙）」（『木簡研究』27） : 2005年
 ○南相馬市教委文化財課 : 『泉廃寺跡—陸奥国行方郡家の調査報告』（南相馬市埋蔵文化財調査報告書6） : 2007年
- 河股城跡（02年度調査）**〔かわまたじょう〕 伊達郡川俣町
 中世城館 02.5 - 02.11 1点 川俣町教育委員会
 ○川俣町教委 : 『河股城跡調査報告書Ⅴ』（川俣町文化財調査報告書20） : 2004年
 ○井上浩光 : 「福島・河股城跡」（『木簡研究』26） : 2004年